



Japan Display Inc.

# JDI IMDS作成マニュアル

株式会社ジャパンディスプレイ

2023年09月13日

Ver. 1.01

<b><u>1 はじめに</u></b>	<b>4</b>
<u>1-1 目的</u>	
<u>1-2 適用範囲</u>	
<b><u>2 IMDS報告における基本的な考え方</u></b>	<b>6</b>
<u>2-1 調査/報告方法</u>	
<u>2-2 機密情報について</u>	
<u>2-3 納入品中の反応性材料について</u>	
<b><u>3 IMDSの入力方法(基本)</u></b>	<b>9</b>
<u>3-1 IMDSレコメンデーション</u>	
<u>3-2 IMDSユーザーマニュアル、IMDSトレーニングガイド</u>	
<b><u>4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)</u></b>	<b>12</b>
<u>4-1 JDI固有要求一覧</u>	
<u>4-2 基本項目</u>	
<u>4-3 IMDSコミッティー材料</u>	
<u>4-4 材料商品名</u>	
<u>4-5 量産準備段階の「事前申告」</u>	
<u>4-6 アプリケーションコード</u>	
<u>4-7 充填剤記号</u>	
<u>4-8 リサイクル情報</u>	
<u>4-9 提出対象品番</u>	

4-10 JDIからの支給部品を含む場合

4-11 MDSレポートの提出について

4-12 データ転送方法

**5 IMDSの警告について** **39**

5-1 エラー/警告の確認

5-2 修正対応について

**6 物質調査データの作成上のポイント** **49**

6-1 GADSL収載物質は、必ず報告する

6-2 最終製品に含まれる状態で報告する

6-3 最新の設計変更、材料変更と一致させる

6-4 物質調査データは、サプライチェーンを通じて伝達する

6-5 材料は均質材料毎に報告する

6-6 材質表示の表示有無を報告する

6-7 部品質量を正しく報告する

6-8 ガラス成分の入力方法

6-9 材料データの名称欄には、材料名称を入力する

6-10 納入単位とJDI使用単位の異なる部材は、材料またはセミコンポーネントで報告する

**7 お問い合わせ先** **67**

**改訂履歴** **69**



Japan Display Inc.

# 1 はじめに

1-1 目的

1-2 適用範囲

# 1 はじめに

## 1-1 目的

本マニュアルでは、IMDS\*<sup>1</sup>を用いた物質調査データの作成や報告方法について説明しています。

IMDSデータの基本的な入力方法につきましては、IMDSレコメンデーション、IMDSユーザーマニュアル\*<sup>2</sup>、IMDSトレーニングガイドをご覧ください。

JDI固有の要求事項につきましては、本マニュアルをご覧ください。

\*<sup>1</sup> IMDS(International Material Data System) :

ドイツ自動車工業会(VDA)が中心となり開発したシステム。グローバルな自動車業界標準のデータベースであり、日本を含めた世界の主要な自動車メーカーが会員となり運営している。

\*<sup>2</sup> IMDSユーザーマニュアル : Material Data System(IMDS)ユーザーマニュアルのこと。

IMDSデータの品質向上に向け、本マニュアルをご活用ください。

## 1-2 適用範囲

本マニュアルは、サプライヤー様より弊社に送信いただくIMDSデータに適用します。



Japan Display Inc.

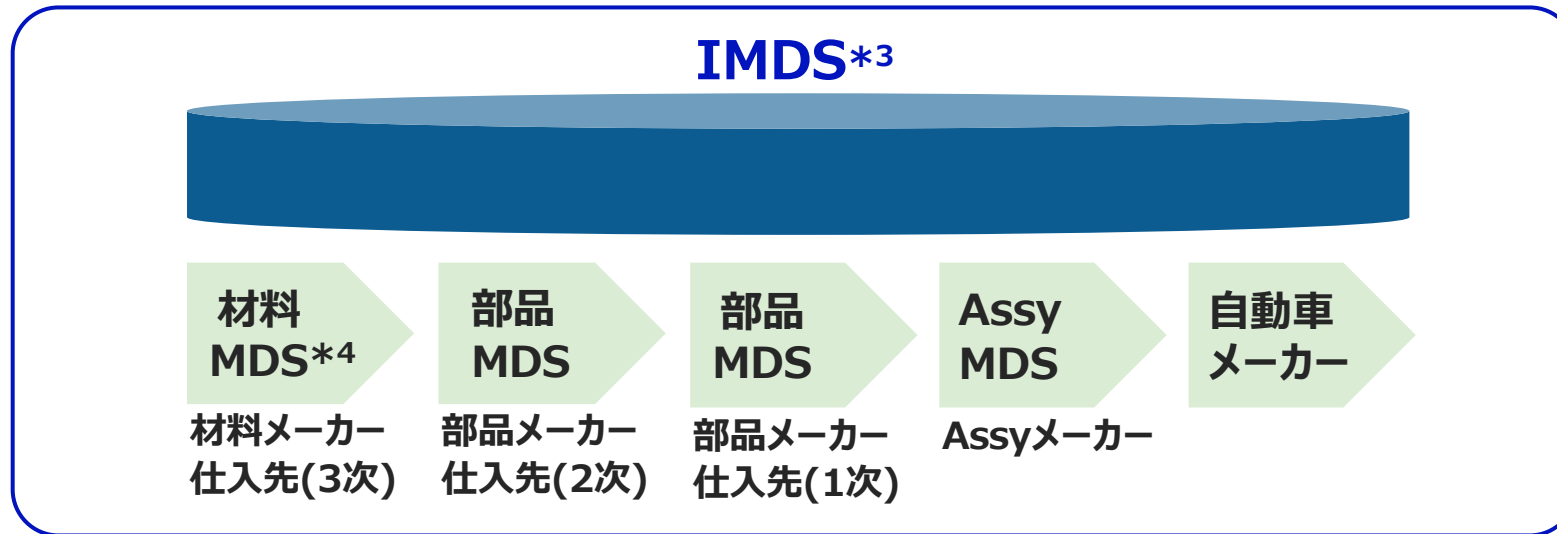
## 2 IMDS報告における基本的な考え方

- 2-1 調査/報告方法
- 2-2 機密情報について
- 2-3 納入品中の反応性材料について

## 2 IMDS報告における基本的な考え方

### 2-1 調査/報告方法

サプライヤー様が購入されている部品・材料につきましては、サプライチェーンを遡って含有物質(成分)を調査いただき、弊社へ報告してください。



\*3 **IMDS** (International Material Data System) :

環境法規制対応のため、自動車業界がMDSを収集しているWeb上のデータベース。最終的に自動車メーカーへMDSを提出することを目的とし、MDSの情報伝達の手段として、サプライチェーンで広く使用されている。

\*4 **MDS** (Material Data Sheet) :

製品や部品を構成する材料およびその材料を構成する化合物に関するデータ。

## 2 IMDS報告における基本的な考え方

### 2-2 機密情報について

非開示物質(成分)は、均質材料あたり10%までとします。その際、GADSLで規制されている物質については、非開示に含めないでください。

※GADSLについては、「6-1 GADSL収載物質は、必ず報告する」を参照してください。

### 2-3 納入品中の反応性材料について

弊社へ納入時の状態で報告してください。

特に「樹脂、接着剤、塗料、はんだ、インク、めっき」などの反応後最終的に含有(付着)する物質を報告してください。





Japan Display Inc.

## 3 IMDSの入力方法(基本)

3-1 IMDSレコメンデーション

3-2 IMDSユーザーマニュアル、IMDSトレーニングガイド

### 3 IMDSの入力方法(基本)

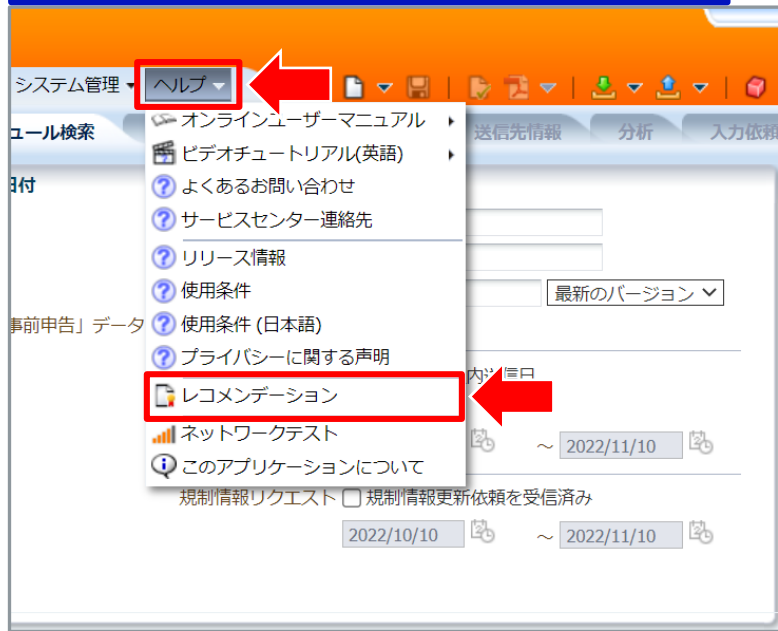
#### 3-1 IMDSレコメンデーション

IMDSの入力ルールとして、IMDSレコメンデーションがあります。これは、IMDSステアリングコミッティーの推奨する内容を示したものです。

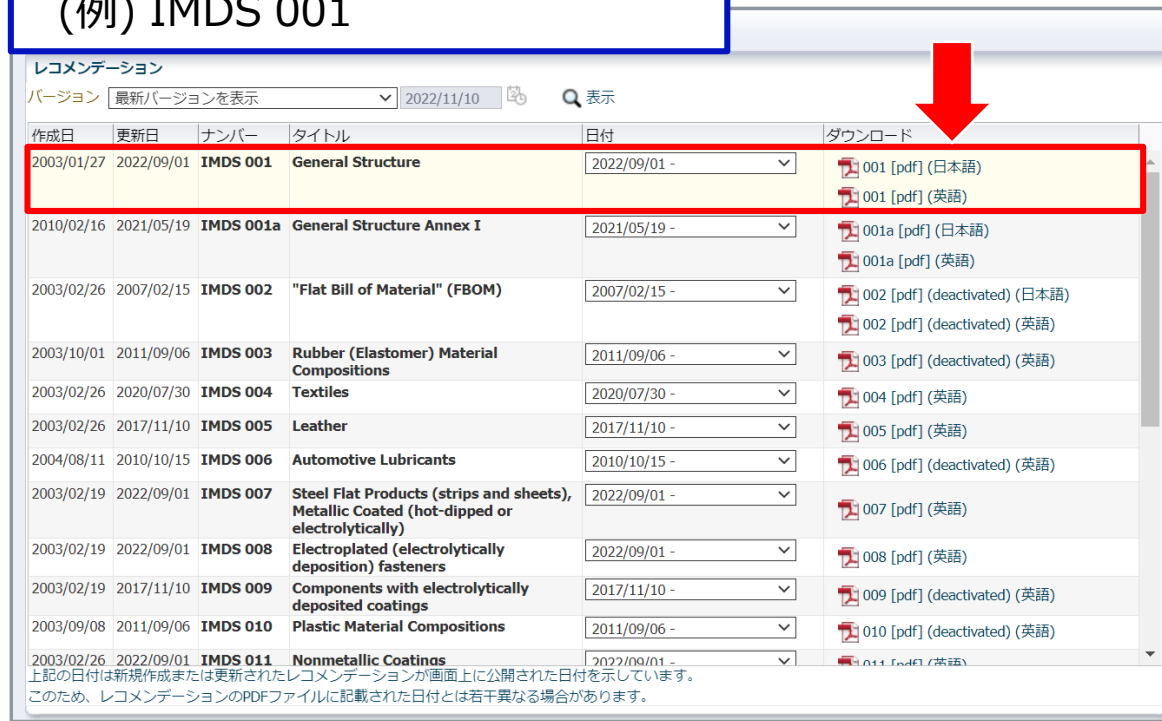
IMDSログイン <https://www.mdsystem.com/imdsnt/faces/login>

IMDSへログイン後、以下のとおりダウンロードのうえ、確認してください。

①IMDSへログイン後、メニューバーの「ヘルプ」⇒「レコメンデーション」をクリックします。



② をクリックするとダウンロードできます。  
(例) IMDS 001



### 3 IMDSの入力方法(基本)

#### 3-2 IMDSユーザーマニュアル、IMDSトレーニングガイド

IMDSユーザーマニュアル、IMDSトレーニングガイドは、以下のURLからダウンロードしてください。

日本語 <https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

英語 <https://public.mdsystem.com/en/web/imds-public-pages/faq>

中国語 <https://public.mdsystem.com/zh/web/imds-public-pages/faq>

The screenshot shows the IMDS website's FAQ page. A red box highlights the 'FAQ(よくあるご質問集)' link in the top navigation bar. A red arrow points to a text box stating: 'FAQ(よくあるご質問集)が表示されます。' (FAQ is displayed).

Another red box highlights the '最新のIMDSユーザーマニュアルはこちらからダウンロードできます。IMDSユーザーマニュアル' link. A red arrow points to a text box stating: 'IMDSユーザーマニュアル(日本語版)が表示されます。エラーチェックの内容などが記載されています。' (IMDS user manual (Japanese version) is displayed. Error check contents are recorded).

A green arrow points from this text box to a third text box: 'IMDSトレーニングガイド(日本語版)が表示されます。操作方法について記載されています。' (IMDS training guide (Japanese version) is displayed. Operation methods are recorded).

The screenshot also shows the 'IMDS Chemistry Manager' page with a red box highlighting the 'IMDSトレーニングガイド(日本語版) IMDSトレーニングガイド(リリース13.2) (概要編・演習編・カンパニードミニストレーター編が収録されています。)' link. A red arrow points to this link.

Text on the right side of the screenshot reads: '左画面下の表示' (Display on the left side of the screen).



Japan Display Inc.

## 4 IMDSの入力方法および注意点 (JDI固有含む)

- 4-1 JDI固有要求一覧
- 4-2 基本項目
- 4-3 IMDSコミッティー材料
- 4-4 材料商品名
- 4-5 量産準備段階の「事前申告」
- 4-6 アプリケーションコード
- 4-7 充填剤記号
- 4-8 リサイクル情報
- 4-9 提出対象品番
- 4-10 JDIからの支給部品を含む場合
- 4-11 MDSレポートの提出について
- 4-12 データ転送方法

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-1 JDI固有要求一覧

- ・IMDSデータシートを作成する際のJDI固有要求は、以下のとおりです。これらの固有要求に沿ったIMDSデータシートを作成してください。
- ・データシート送信完了後は、MDSレポートを作成し、jDesc(JDI含有化学物質管理システム)へ回答登録してください。

カテゴリー	内容	参照スライド
基本項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部品名称/部品番号は、弊社指定の内容で記入してください。</li> <li>・同一品番で、修正/再報告する場合は、同じMDS IDのままバージョンを繰り上げて報告してください。</li> <li>・バージョンは、基本的に小数で報告してください。</li> <li>・「転送許可」にチェックを入れてください。</li> </ul>	14～18
材料商品名	<p>記入は任意です。記入する場合は、『名称 = 商品名』とならないようにしてください。</p> <p>機密情報に関する部分は、サプライヤー様でご配慮をお願いします。</p>	23
量産準備段階の「事前申告」	弊社から依頼のない限り、量産準備段階の「事前申告」データシートは、提出しないでください。	24
支給部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弊社からの支給部品を含む場合は、支給部品を構成から除いた状態で登録してください。</li> <li>・重量も支給部品を除いた総重量で報告してください。</li> </ul>	31
MDSレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データシートの送信完了後、MDSレポートを作成し、jDescに回答登録してください。</li> <li>・MDSレポートは、『英語版のフルレポートでJDI視点のもの』を提出してください。</li> </ul>	32～34

次ページ以降の各スライドに  **JDI固有要求** を付けています。

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-2 基本項目

IMDS画面	項目	入力方法
構成情報画面	①部品名称(TOP)	・サプライヤー様の部品名称もしくは任意の品名を記入します。
	②部品番号(TOP)	・サプライヤー様の部品番号もしくは任意の品番を記入します。
	③部品名称(子部品)	・サプライヤー様の部品名称もしくは任意の部品名称記入します。
	④部品番号(子部品)	・サプライヤー様の部品番号もしくは任意の部品番号を記入します。
送信先情報画面	⑤送信先企業ID/組織ID	・「103885」を選択します。
	⑥サプライヤーコード	・サプライヤー様のコードを記入します。(任意)
	⑦名称	・JDI品目テキストを記入します。
	⑧部品番号	・JDI品目コードを記入します。
	⑨転送設定	・「転送許可」にチェックを入れます。
全画面共通	⑩ID/Version	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一品番で、修正/再報告する場合は、同じMDS IDの新バージョンで報告。</li> <li>・バージョンは、基本的に小数で送信。</li> </ul> ※仕入先様より受信されたデータシートを転送する場合など、上述の対応ができない場合は、新規MDS ID/整数バージョンの送信も可。

 **JDI固有要求**

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-2 基本項目

#### <構成情報画面>

データシート / モジュール検索 | 構成情報 \* | サプライヤー情報 \* | 送信先情報 \* | 分析 | 入力依頼

フィルター: GADSL

PRODUCT

- 1x PART\_A
  - 5.0g PET
- 1x PART\_B
  - 5.0g Ag99.85Ni0.15

詳細

共通情報

タイプ

ID/バージョン

ノードID

ノード数

サプライヤー

部品名称: PRODUCT \*

部品番号: A12345678

生産準備初期段階の「事前申告」データシート

マルチソース  いいえ

日付

作成日

確認/リリース日

数量と質量

部品質量: 10.0 g \*

部品質量(自動計算値): 10.0 g

自動計算値との差: 0.0% ?

①部品名称(TOP)  
サプライヤー様の部品名称もしくは任意の品名を記入します。

②部品番号(TOP)  
サプライヤー様の部品番号もしくは任意の品番を記入します。

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-2 基本項目

#### <構成情報画面>

データシート/モジュール検索 | 構成情報 \* | サプライヤー情報 \* | 送信先情報 \* | 分析 | 入力依頼

フィルター: GADSL

▼ PRODUCT

- ▼ 1x PART\_A
  - ▶ 5.0g PET
  - ▼ 1x PART\_B
    - ▶ 5.0g Ag99.85Ni0.15

詳細

▼ 共通情報

タイプ コンポーネント

ID/バージョン 1178277843 /

ノードID 117827784

部品名称 PART\_A

部品番号 A12345678

生産準備初期段階の「事前  
申告」データシート

マルチソース いいえ

▼ 日付

作成日 2022/11/30 ?

確認/リリース日 2022/11/30 ? レコメンデーション

▼ 数量と質量

数量

部品質量 5.0 g

部品質量(自動計算値) 5.0 g

自動計算値との差 0.0% ?

▼ SCIP

③部品名称(子部品)  
サプライヤー様の部品名称もしくは  
任意の部品名称を記入します。

④部品番号(子部品)  
サプライヤー様の部品番号もしくは  
任意の部品番号を記入します。



## 4-2 基本項目

### <送信先情報画面>

データシート | 機能 | システム管理 | ヘルプ

データシート/モジュール検索 | 構成情報 \* | サプライヤー情報 \* | 送信先情報 \* | 分析 | 入力依頼

名称 Component\_1178286810 | ID/バージョン 1178286810 / 0.01 | ノードID 1178286810 | ステータス 編集モード

送信 | 全送信 | 社内送信 | 公開

Japan Display Inc. [103885] 編集モード (2022/11/30)

詳細

送信情報

企業 Japan Display Inc. [103885]  
組織 -

送信先ステータス 編集モード

サプライヤーコード xxxxxx  
名称 PRODUCT  
部品番号 A12345678

旧式スペアパーツ   
送受信/確認日 なし  
転送許可

図面情報

図面番号  
図面作成日  
設計変更番号

発注書

発注番号  
納品番号

レポート

レポートNo.  
レポート日

⑤送信先企業ID/組織ID  
「103885」を選択します。

⑥サプライヤーコード(任意)  
サプライヤー様のコードを記入します。

⑦名称  
JDI品目テキストを記入します。

⑧部品番号  
JDI品目コードを記入します。

⑨転送設定  
「転送許可」にチェックを入れます。

JDI固有要求

# 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

## 4-2 基本項目

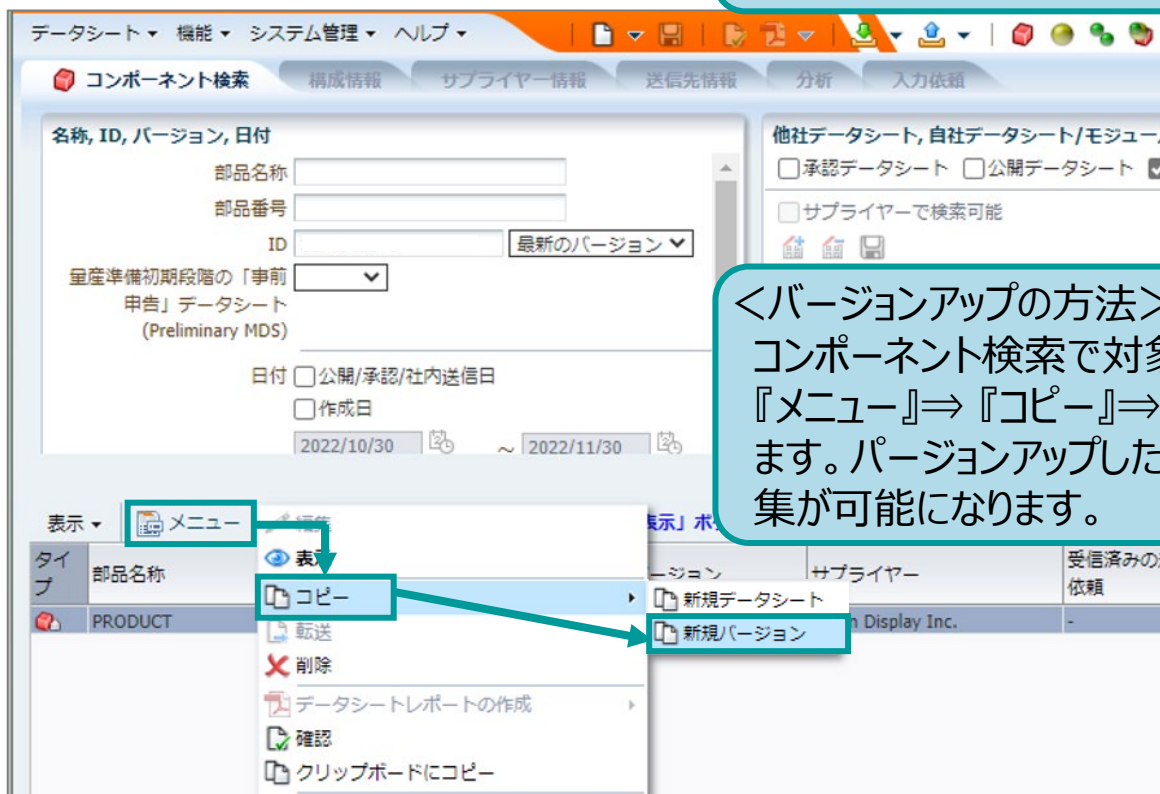
### <全画面共通>



#### ⑩ID/Version

- ・同一品番で、修正/再報告する場合は、基本的に同じMDS IDの新バージョンで報告してください。
- ・バージョンは、基本的に小数で報告してください。

JDI固有要求



#### <バージョンアップの方法>

コンポーネント検索で対象データを表示し、選択後、『メニュー』⇒『コピー』⇒『新規バージョン』を選択します。バージョンアップしたデータシートが作成され、編集が可能になります。

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-3 IMDSコミッティー材料

- ・IMDSでは、公的規格でIMDSコミッティー材料のある場合は、IMDSコミッティー材料を用いるルールとなっています。
- ・該当する材料がある場合は、データシートを独自に作成するのではなく、IMDSステアリングコミッティーによって公開された材料データシートを使用してください。(IMDS レコメンデーション 4.4.1.1)

#### ※IMDSコミッティー材料とは

- ・IMDSにおける標準材料(IMDSステアリングコミッティーによって公開された材料データシート)のことをいいます。
- ・IMDSでは、EU(EN・DIN規格等)、日本(JIS規格)、アメリカ(ASTM規格・ UNS規格)、ISO規格などの公的規格材料がIMDSコミッティー材料として登録されています。

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-3 IMDSコミッティー材料

#### <IMDSコミッティー材料の入力方法>

##### ①材料の情報の確認

- ・仕様書、図面、JIS規格等の情報より、JIS規格番号、材料記号を確認します。

<例> ステンレス鋼棒の例で示します。

**JIS規格番号 : JISG4303      材料記号 : SUS316N**

JIS規格番号、材料記号は、JIS規格のホームページ等で確認することができます。

JIS規格のホームページ : <http://www.jisc.go.jp/>

また、以下のJAPIAシート外部リスト抜粋の、「MAT」シートも参考にしてください。

表面処理 識別	構成材料名称(英語)	構成材料名称(日本語)	材料規格	材料コード (金属・その他)	材料記号 (樹脂・ゴム)	VDA材料分 類 コード	IMDS登録名 称
	Stainless Steel SUS316N	ステンレス鋼棒	JISG4303	SUS316N		1.1.2	SUS316N

▶ | Cover | CAT | **MAT** | UNIT2 | IMDS\_PCTYPE | IMDS\_NORM | IMDS\_CATEGORY | +

次ページに続く

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-3 IMDSコミッティー材料

#### ②IMDSの登録状況の確認

- ・IMDSの材料検索画面に、材料記号：SUS316N、JIS規格番号：JISG4303 を入力します。
- ・IMDSでは、材料にモジュールIDとバージョンを設定して管理しています。  
公的規格の更新、誤記修正等により、新規バージョンのデータが登録されることがあります。

①材料検索アイコン をクリックします。

②標準材料コード『SUS316N』を入力します。

③Norm(材料規格)『JIS G4303』を入力します。

④公開データシート、推奨材料データシートにチェックを入れます。

⑤検索ボタンをクリックします。

⑥該当するIMDSコミッティー材料が表示されます。(クリックすると詳細情報が表示されます。次ページ参照。)

- ・同一のSUS316Nについて、バージョン違いのIMDSコミッティー材料が登録されています。
- ・弊社には、最新バージョンを用いて報告してください。  
(この場合、11896411/7)

The screenshot shows the IMDS search interface. The search criteria are: Standard Material Code: SUS316N, Norm: JIS G4303. The search results table is as follows:

タイプ	名称	材料記号	商品名	標準材料コード	社内材料コード	ID/バージョン	サプライヤー	受信済みの規制情報の依頼	最初の依頼日
	SUS316N (Stainless steel)	-	-	SUS316N	-	11896411 / 7	IMDS-Committee / ILI Metals	-	-

次ページに続く

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-3 IMDSコミッティー材料

#### ③IMDSの登録内容の確認

材料『SUS316N』の登録内容が表示されます。

化合物成分が表示されます。

標準材料コードに、材料記号『SUS316N』が表示されます。

公的材料規格欄に、JIS規格番号『JISG4303』が表示されます。  
※JIS規格は3つありますが、IMDSコミッティー材料は、1つのみ登録されています。

企業	材料規格	材料規格コード
-	JIS	G4303 (2012)
-	JIS	G4304 (2012)
-	JIS	G4305 (2012)

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-4 材料商品名

- ・記入は任意となります。記入する場合は、『名称 = 商品名』としないようにしてください。
- ・サプライヤー様から受領したデータは、弊社では修正できません。サプライヤー様の製品/材料で機密情報に関する部分は、サプライヤー様でご配慮をお願いします。

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

材料検索 構成情報\* サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力依頼

フィルター GADSL 規制情報の表示

▼ PET

- ◆ 99.9% Polyethylene terephthalate
- ◆ 残部 0.1% Misc., not to declare

詳細

▼ 共通情報

ノード数 3

名称 PET \*

商品名

社内材料コード A12345678

量産準備初期段階の「事前申告」データシート

▼ 日付

『名称 = 商品名』としないようにしてください。  
秘匿したい場合は、空欄でも可です。

JDI固有要求

※材料メーカー様の用意された材料などで修正できない場合は、別途ご相談ください。

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-5 量産準備段階の「事前申告」

- 弊社には、量産部品のデータを提出してください。
- 弊社から依頼のない限り、量産準備段階の「事前申告」データシートは、提出しないでください。

#### 【ご注意】

- 海外の2次仕入先様から入手したデータ中に、下図にチェックのあるデータが含まれていることがあります。このようなデータを含む場合、弊社顧客より拒否されることがあります。その場合、データの内容が同一であっても再提出となり、再調査が必要となりますのでご注意ください。

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

材料検索 構成情報 \* サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力依頼

フィルター GADSL 規制情報の表示

▼ PET

- ◆ 99.9% Polyethylene terephthalate
- ◆ 残部 0.1% Misc., not to declare

詳細

▼ 共通情報

タイプ 材料 (モジュール)

名称 PET \*

商品名

社内材料コード A12345678

量産準備初期段階の「事前申告」データシート

▼ 日付



## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-6 アプリケーションコード

#### <記入ルール>

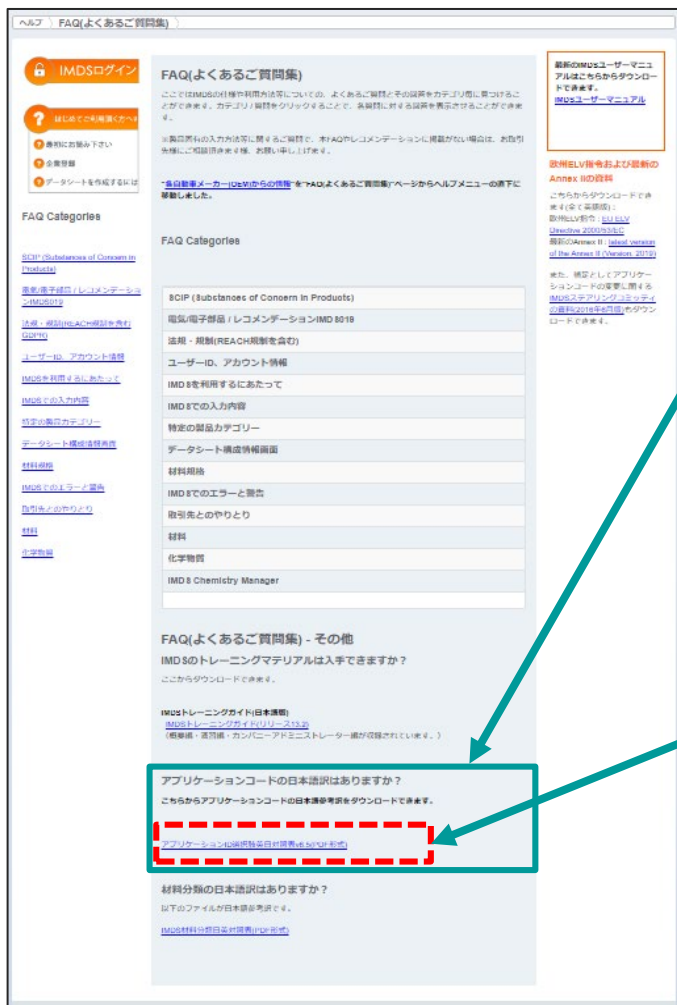
- アプリケーションコードは、製品の用途に合ったコードを記入してください。  
 ※鉛を不純物として0.1%以下で記入する場合は、「アプリケーションコード 44」を用いて報告してください。また、44～47以外のアプリケーションコードの場合は、意図的に使用しているはずですので、最小値に「0」を入れることは避けてください。これらについて顧客から依頼された場合、修正をお願いする場合があります。
- 製品の適用除外項目の変更(アプリケーションコードの細分化)、アプリケーションコードの無効化(13、16、58など)に該当する場合、報告済データの更新をお願いする場合があります。
- データシート作成の際は、次ページの「最新のアプリケーションコードの確認方法」をご確認のうえ、最新版のアプリケーションコードを使用してください。

次ページに続く

# 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

## 4-6 アプリケーションコード

### <ご参考：日本語版 アプリケーションID 選択肢 英語-日本語対照表>



IMDSのFAQ(よくあるご質問集)を開きます。  
<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

『アプリケーションコードの日本語訳はありますか?』を確認します。  
『アプリケーションID選択肢英日対照表』をダウンロードします。

IMDS リリース13.2 アプリケーションID 選択肢 英語-日本語対照表  
Ver 6.5 2022.04.27 by Japan IMDS Committee

本資料に掲載されている日本語訳はあくまでも参考訳です。最終的なご判断の際は、必ず英語原文をご確認下さい。

ID	APPLICATION (英語)	APPLICATION (日本語参考訳)
Lead used as/in		
69	1(a) - Steel for machining purposes and batch hot dip galvanized steel components containing up to 0.35 % lead by weight	以下の用途や材料中の鉛 1(a) - 機械加工を目的とした鉄鋼およびバッチ処理溶融亜鉛めっき鉄鋼部品で、0.35重量%以下の鉛を含むもの
70	1(b) - Continuously galvanized steel sheet	1(b) - 0.35重量%以下の鉛を含む連続処理亜鉛めっき鋼板
71	2(a),(b),(c)(i) - Alloying element in aluminum for machining purposes	2(a),(b),(c)(i) - 機械加工を目的としたアルミニウム中の合金成分
72	2(c)(ii) - Recycled aluminum alloy containing unintentionally added lead	2(c)(ii) - 非意図的に鉛が添加されたリサイクルアルミニウム合金
3	3 - Alloying element in copper	3 - 銅中の合金成分
51	4(b) - Alloying element in bearing shells and bushes in engines, transmissions and air conditioning compressors	4(b) - エンジン、トランスミッション、エアコンに使用するベアリングシェルおよびブッシュの合金成分
52	4(a) - Alloying element in bearing shells and bushes for all other applications (potentially prohibited)	4(a) - その他の全ての用途で使用するベアリングシェルおよびブッシュの合金成分(使用禁止の可能性あり)

ID	APPLICATION (英語)	APPLICATION (日本語参考訳)
83	Repetitive skin contact (required according to REACH 1907/2006 EC Annex XVII Entry 50)	反復的な皮膚接触あり (REACH 1907/2006 EC Annex XVII Entry 50 の規定による)
84	Not applicable (no repetitive skin contact)	適用外(反復的な皮膚接触なし)

\*1 Thresholds 0.1% for mercury, lead and hexavalent chromium, 0.01% for cadmium 水銀、鉛、六価クロムは0.1%以下、カドミウムは0.01%以下

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-7 充填剤記号

充填剤の化合物情報に基づき、充填剤記号を作成し、材料データにご記入ください。

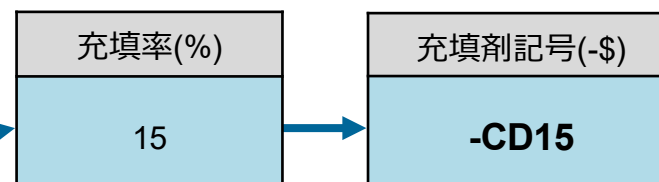
- 充填剤が2種類ある場合、-(GF20+TD10)のように、成分比率の多い順に「+」の後に続けて記入します。
- 充填率の数値は整数とし、小数点は四捨五入してください。(例：10.3⇒10、11.8⇒12)

#### ISO1043-2の情報

物質、材料情報		形状	
B	boron	B	beads, balls
C	carbon	C	chips, cuttings
E	clay	D	powder
G	glass	F	fiber
K	calcium carbonate	G	ground
L	cellulose	H	whisker
M	mineral, metal	K	knitted fabric
P	mica	L	layer
		M	mat
		N	non-woven

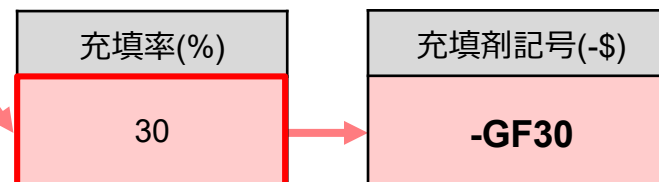
#### <例 1>

樹脂の着色用(黒色)に炭素粉を15%混入している場合、炭素(carbon : C)・粉(powder : D)・15% ⇒ -CD15と記入



#### <例 2>

樹脂の熱膨張防止用にガラス繊維を30%混入している場合、ガラス(glass : G)・繊維(fiber : F)・30% ⇒ -GF30と記入



## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-8 リサイクル情報

- リサイクル材使用の有無を入力してください。※IMDSのエラーチェックでエラーになるリサイクル情報は、必ず入力してください。リサイクル材を使用している場合は、必須となる項目を全て入力してください。

NG

循環材料を含む材料のソース  
無機または化石ベース材料の割合  
100.0 - 100.0 % ?

材料にリサイクル材が含まれますか?  
未回答

OK

循環材料を含む材料のソース  
無機または化石ベース材料の割合  
100.0 - 100.0 % ?

材料にリサイクル材が含まれますか?  
いいえ

リサイクル材使用の有無を入力してください。

OK

循環材料を含む材料のソース  
無機または化石ベース材料の割合  
100.0 - 100.0 % ?

材料にリサイクル材が含まれますか?  
はい

一次無機または化石ベース材料の割合  
90.0 \* - 100.0 \* %

リサイクルの割合  
0.0 \* - 10.0 \* %

リサイクル材を使用している場合は、必須となる項目を全て入力してください。

次ページに続く

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-8 リサイクル情報

#### <リサイクル情報の回答有無確認方法>

・IMDSの検索機能でリサイクル情報の回答有無を確認できます。



①検索のマークをクリックします。

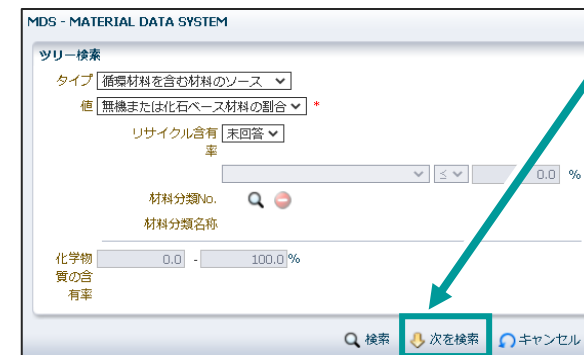
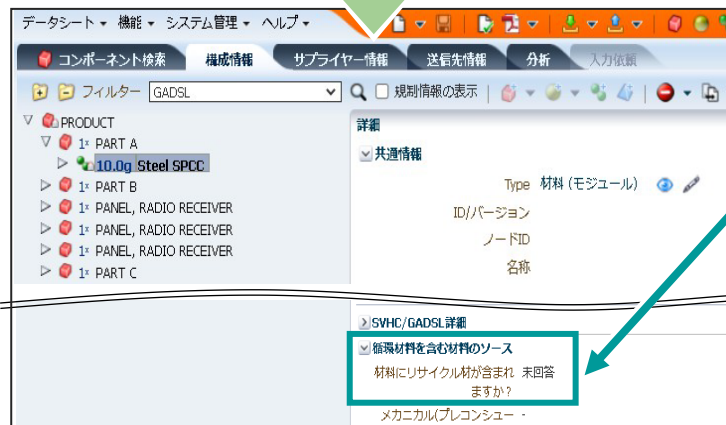
②タイプ：「循環材料を含む材料のソース」を選択します。

③リサイクル含有率：「未回答」を選択します。

④検索をクリックします。

⑤「未回答」箇所を特定します。

⑥「次を検索」をクリックし、データ内を全て確認してください。

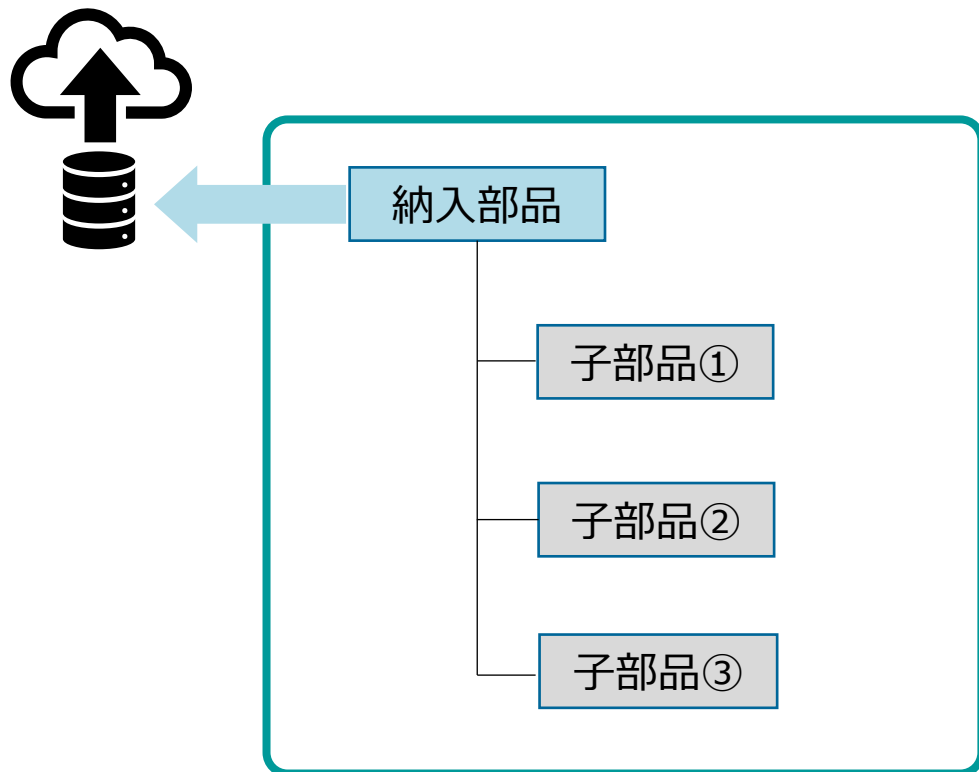


## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-9 提出対象品番

弊社納入単位の品番でIMDSデータを提出してください。  
子部品単位では提出しないでください。

弊社納入単位の品番でIMDSデータを提出してください。

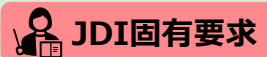


子部品単位では提出しないでください。



## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

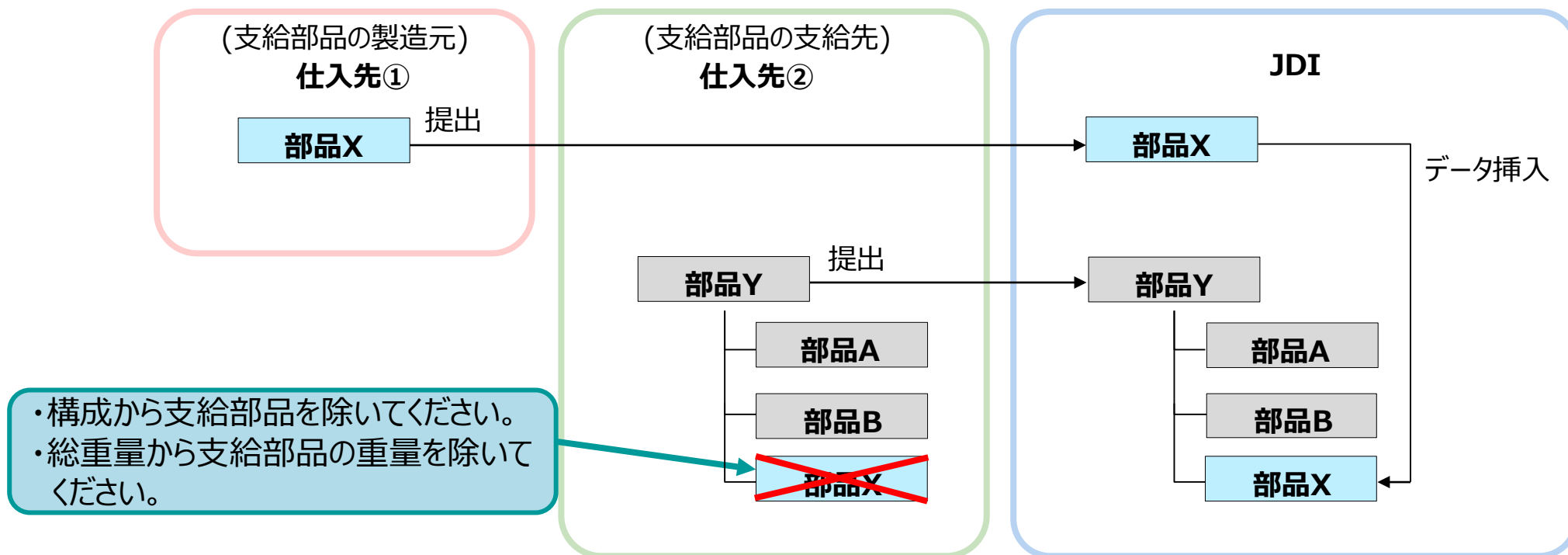
### 4-10 JDIからの支給部品を含む場合



- ・弊社からの支給部品を含む場合は、構成から支給部品を除いた状態で登録してください。
- ・総重量から支給部品の重量を除いた状態で報告してください。

#### <対応例>

**部品X** : JDIからの支給部品



## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

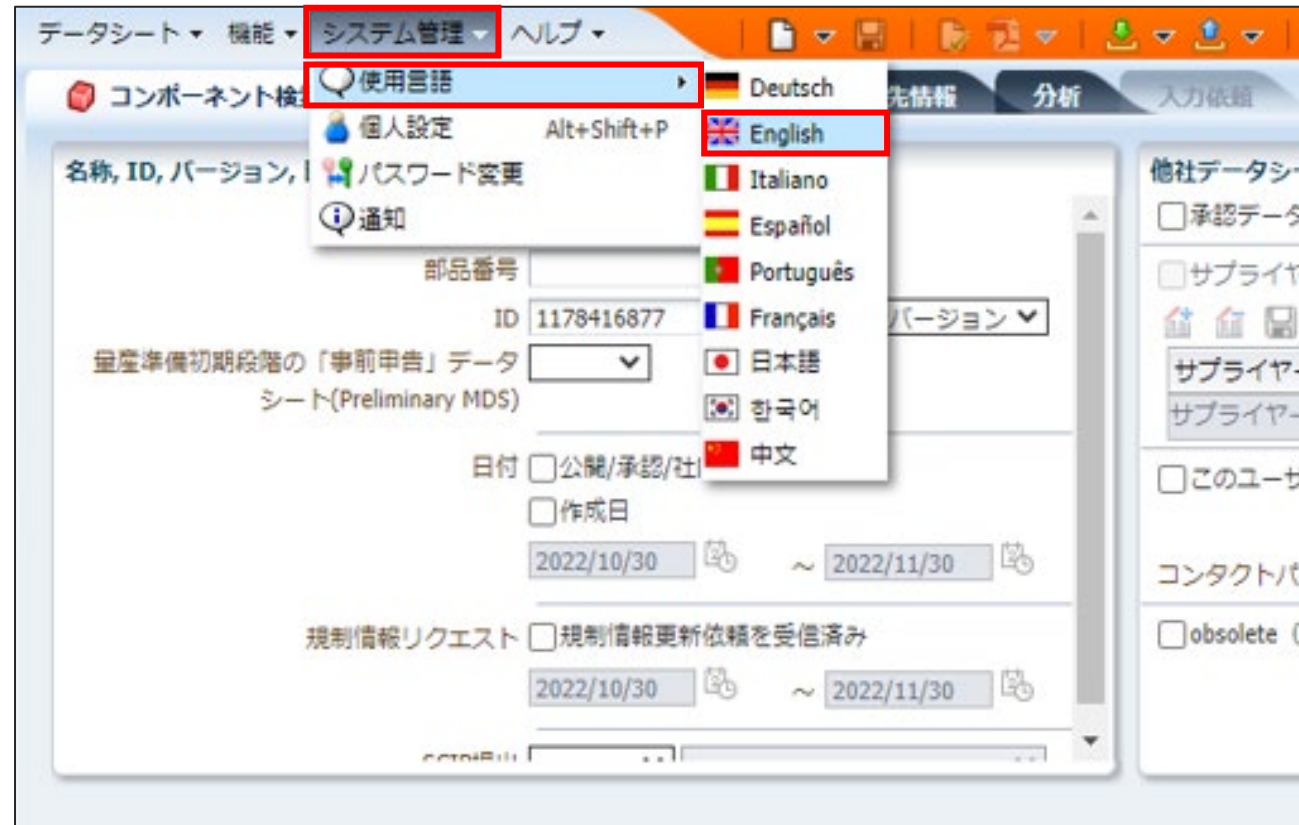
### 4-11 MDSレポート提出について



データシートの送信完了後、MDSレポートの『英語版』を作成し、jDesc(JDI含有化学物質管理システム)に登録してください。jDescへの登録方法につきましては、「jDesc操作マニュアル」を確認してください。

#### <英語版MDSレポートの作成方法>

①『システム管理』⇒『使用言語』⇒『English』を選択します。



次ページに続く



## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-11 MDSレポート提出について

JDI固有要求

② 『Create MDS Report』 ⇒ 『Full Report』 を選択します。以下の a) b) どちらのやり方でも可能です。

a) コンポーネントを検索し、右クリックから選択します。

The screenshot shows the 'Component Search' interface. A table at the bottom lists search results:

Type	Description	Part/Item No.
PRODUCT		A12345678

A right-click context menu is displayed over the first row. The following options are visible and highlighted with red boxes:

- Create MDS Report
  - Header Only Report
  - Full Report

b) データシートを開いた状態で、『MDS』 から選択します。

The screenshot shows the 'MDS' menu with the following options:

- New
- Save (Alt+Shift+S)
- Save as
- Release Internal
- Convert module to MDS
- Forward
- Create MDS Report**
  - Header Only Report
  - Full Report
- Check
- Accept
- Reject
- Delete
- Submit MDS to SCIP
- Log off

次ページに続く

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-11 MDSレポート提出について

 JDI固有要求

③『Japan Display Inc.』を選択し、JDI視点でレポートを作成してください。

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

Please select a company view for the generated MDS Report

Point of view サプライヤー様名 ▼

サプライヤー様名

Japan Display Inc.


✓ OK ↻ Cancel



MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

Please select a company view for the generated MDS Report

Point of view Japan Display Inc. ▼

 In the recipient's point of view, section 2 ("Characterization of the component") still shows the creator's (your) view of the decomposition. Therefore you might see confidential substances that the recipient cannot see.

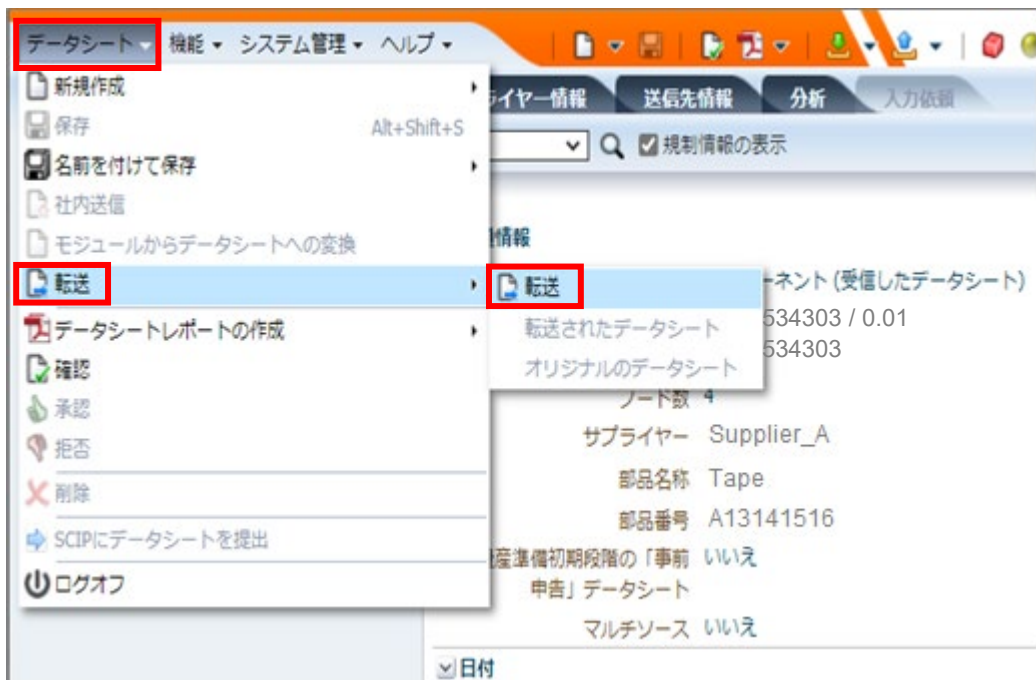
✓ OK ↻ Cancel

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

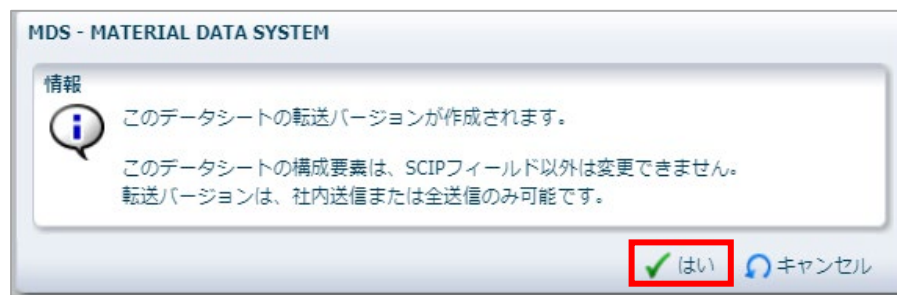
### 4-12 データ転送方法

仕入先様より受信されたデータシートをそのまま弊社に提出する場合、以下の方法で転送できます。

① 『データシート』 ⇒ 『転送』 を選択します。



② 『はい』 を選択します。



新規IDでデータシートが作成されます。



次ページに続く

### 4-12 データ転送方法

③ 『サプライヤー情報』シートを入力します。

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

受信済みデータシート 構成情報 サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力中

名称 Test\_TN | ID/バージョン 1181534303 / 0.01 | ノードID 1181534303 | ステータス 編集モード

企業

企業ID  
DUNSナンバー  
会社の住所

サプライヤー様  
情報

組織

企業ID  
DUNSナンバー  
会社の住所

サプライヤー様  
情報

コンタクトパーソン

コンタクトパーソン

Eメール -  
電話番号 -  
FAX番号 -



④ 『送信先情報』シートを入力します。

データシート ▾ 機能 ▾ システム管理 ▾ ヘルプ ▾

受信済みデータシート 構成情報 サプライヤー情報 送信先情報 分析

名称 Test\_TN | ID/バージョン 1181534303 / 0.01 | ノードID 1181534303 | ステータス 編集モード

送信 全送信 社内送信

このデータシートにはまだ送信先が割り当てられていません。

次ページに続く

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-12 データ転送方法

- ⑤ JDIの企業ID「103885」を入力後、『検索』をクリックします。表示された企業名を選択し、『適用』をクリックします。

MDS - MATERIAL DATA SYSTEM

企業

企業名  郵便番号  企業のみ

企業ID  市町村名

組織  国名

DUNSナンバ

表示 ▼

企業名	組織	ID	郵便番号	市町村名
Japan Display Inc.	Japan Display Inc.	103885	105-0003	Minato-ku, Tokyo

見つかったデータ 1

次ページに続く

## 4 IMDSの入力方法および注意点(JDI固有含む)

### 4-12 データ転送方法

- ⑥ 以下の項目を入力し、『全送信』を選択します。  
 ※転送の場合、『送信』は選択できません。

The screenshot shows a web application interface for data entry. The top navigation bar includes 'データシート', '機能', 'システム管理', and 'ヘルプ'. Below this, there are tabs for '受信済みデータシート', '構成情報', 'サプライヤー情報\*', '送信先情報\*', '分析', and '入力依頼'. The main content area displays details for a specific data sheet: '名称 Test\_for\_IMDS\_TN | ID/バージョン 1181866025 / 0.01 | ノードID 1181866025 | ステータス 編集モード'. A toolbar contains icons for '送信' (Send) and '全送信' (Full Send), with '全送信' highlighted by a red box. Below the toolbar, the company name 'Japan Display Inc. [103885]' and the mode '編集モード (2022/12/14)' are shown. The right-hand side of the interface is a '詳細' (Details) panel with several sections:
 

- 送信情報** (Send Information): Includes fields for '企業' (Japan Display Inc. [103885]), '組織' (-), '送信先ステータス' (編集モード), 'サプライヤーコード' (サプライヤー様コード), '名称' (JDI品目テキスト), and '部品番号' (JDI品目コード). The last three fields are highlighted with red boxes. There are also checkboxes for '旧式スペアパーツ' (unchecked), '送受信/確認日' (なし), and '転送許可' (checked).
- 図面情報** (Drawing Information): Includes fields for '図面番号', '図面作成日', and '設計変更番号'.
- 発注書** (Purchase Order): Includes fields for '発注番号' and '納品番号'.
- レポート** (Report): Includes fields for 'レポートNo.' and 'レポート日' (データシート送信日), with the latter highlighted by a red box.

 Each input field has a help icon (question mark) to its right.



Japan Display Inc.

## 5 IMDSの警告について

5-1 エラー/警告の確認

5-2 修正対応について

## 5 IMDSの警告について

### 5-1 エラー/警告の確認

IMDSのエラーチェックを実施し、エラー/警告が表示された場合は、内容をご確認のうえ、修正後に報告してください。

#### 【IMDSのエラー/警告チェック方法】

The screenshot shows the MATERIAL DATA SYSTEM interface. A red arrow points to the 'エラーチェックボタン' (Error Check Button) in the top toolbar. Below, a table displays the results of the check, with red arrows pointing to warning and error icons.

No.	タイプ	タブ	ノード / 送信先	メッセージ
2	警告			材料に"Aluminium (metal)"が50%より多く含まれていますが、選択されている材料分類が適切ではありません。適切な材料分類:2.1, 2.1.1, 2.1.2, 7.3
3	警告	構成情報		全ての化学物質のアプリケーションを指定して下さい。
4	警告	構成情報		含有率の範囲値の差が許容値を越えてはなりません。
5	エラー			材料分類が指定されていません。
6	警告	構成情報		材料に"Aluminium (metal)"が50%より多く含まれていますが、選択されている材料分類が適切ではありません。適切な材料分類:2.1, 2.1.1, 2.1.2, 7.3
7	警告	構成情報		参照データシート/モジュールは最新バージョンではありません。



# 5 IMDSの警告について

## 【警告内容の確認方法】

警告内容は、以下のURLより確認してください。

日本語 <https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages/faq>

英語 <https://public.mdsystem.com/en/web/imds-public-pages/faq>

中国語 <https://public.mdsystem.com/zh/web/imds-public-pages/faq>



「FAQ(よくあるご質問集)」が表示されます。

「IMDSでのエラーと警告」をクリックします。



「IMDSでのエラーと警告」が表示されます。

「IMDSのエラーの意味と修正方法を教えてください。」が表示されます。

### 5-2 修正対応について

**IMDSは、受信データを弊社にて修正することが出来ません。**

- ・エラーについては、全て修正してください。
- ・警告については、次ページ以降の内容に従って、確認・修正をお願いします。弊社は、全ての警告修正をお願いするわけではありませんが、弊社顧客要求などにより、修正をお願いする場合があります。  
(一旦、弊社が承認済みの場合も同様です。)

## 5 IMDSの警告について

### ① 部品の下に部品と材料が同一階層にある場合

**【IMDSのチェック：異なる種類のタイプを同じレベルに配置することについて】**

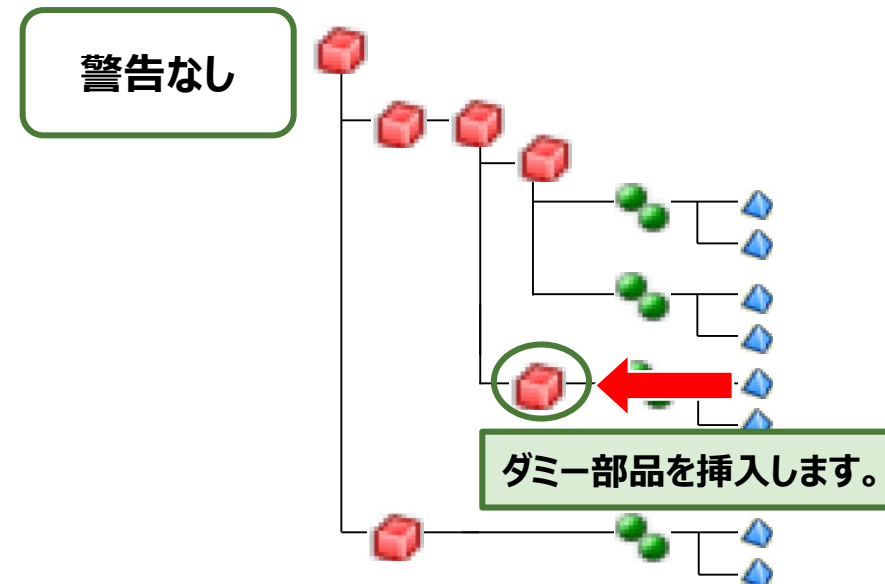
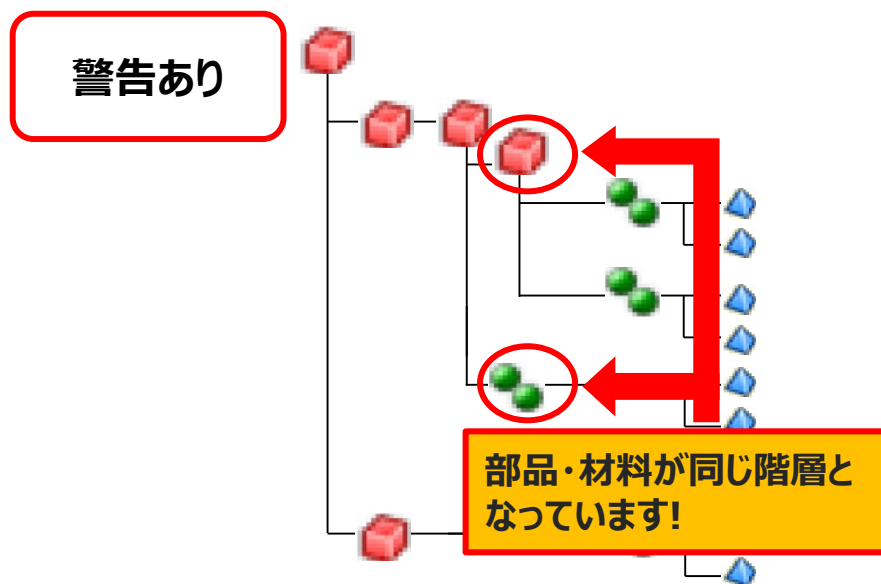
(IMDSユーザーマニュアル 3.3.17 エラーチェック)参照

・IMDSでは同一の親部品の下に部品と材料が同じ階層にある場合、警告が表示されます。

#### 【対応方法】

・右下図のように「ダミー部品」を挿入すると警告を回避できます。

※「ダミー部品」の名称は任意ですが、材料名称とすることを奨励します。



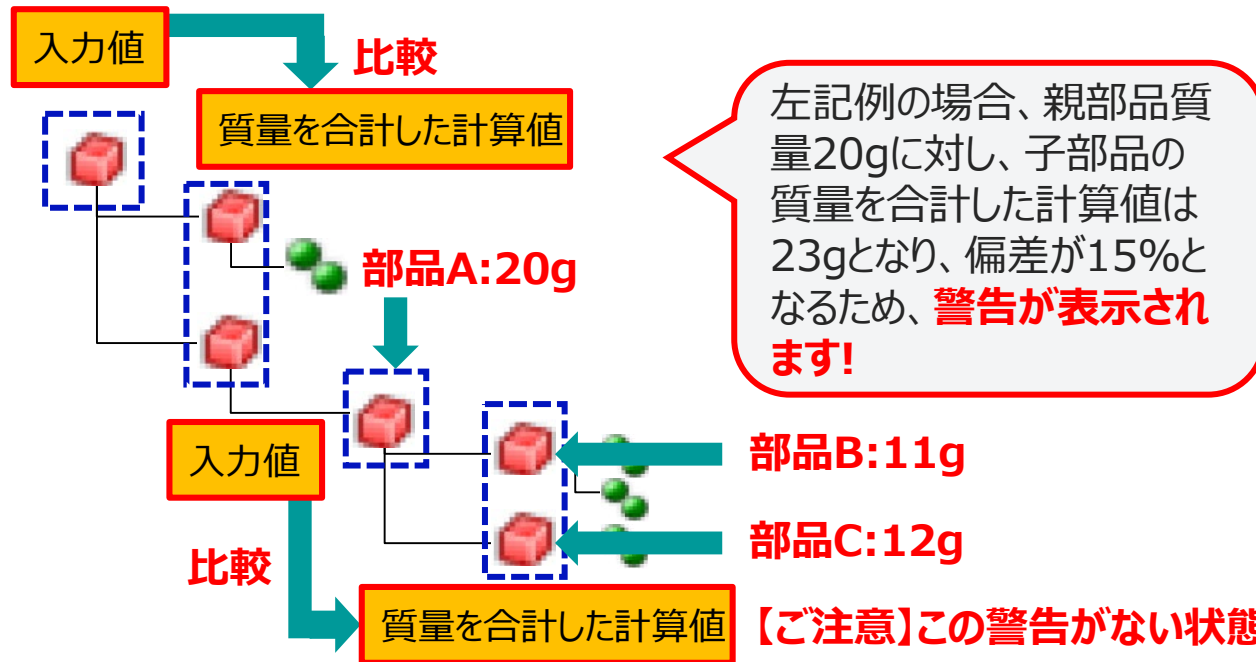
**【ご注意】この警告がない状態で報告してください！**

## ② 部品の質量の最大偏差がIMDSの基準値を超える場合

### 【IMDSのチェック：部品質量に基づいた最大偏差】

(IMDSユーザーマニュアル 3.3.17 エラーチェック)参照

- ・IMDSでは、親部品質量の値に基づいて、子部品質量の最大偏差をチェックしています。  
※エラーチェックは、部品構成の全ての階層において行われます。
- ・警告が出ないように基準値内におさめてください。  
(弊社から顧客へ製品データを報告する際、質量値が公差内に入らなくなるため。)



### 【エラーチェックの基準値】

親部品質量 [M]	最大偏差 [%]
$M < 1 \text{ g}$	100
$1 \text{ g} \leq M < 100 \text{ g}$	10
$100 \text{ g} \leq M < 1 \text{ kg}$	5
$1 \text{ kg} \leq M < 10 \text{ kg}$	2
$10 \text{ kg} \leq M < 100 \text{ kg}$	1
$100 \text{ kg} \leq M$	1

### ③化合物の含有率の範囲がIMDSの基準値を超える場合

#### 【IMDSのルール：部品質量に基づいた最大偏差】

(IMDSレコメンデーション 001 4.5.4 含有率の範囲値(パーセント)、  
IMDSユーザーマニュアル 3.3.17 エラーチェック)参照

- ・化合物の含有率の公差(最小値-最大値)は、以下のように定められています。この公差の範囲内となるようにして報告してください。  
※JISなどの公的規格で定義される材料の場合は、公差範囲を超えることも認められています。

#### 【含有率の範囲値】

化合物含有率  
最大 = Y% 最小 = X%

許容公差範囲  
M = Y% - X%

$0 \leq X \leq 7.5$   
 $7.5 < X \leq 20$   
 $20 < X \leq 100$

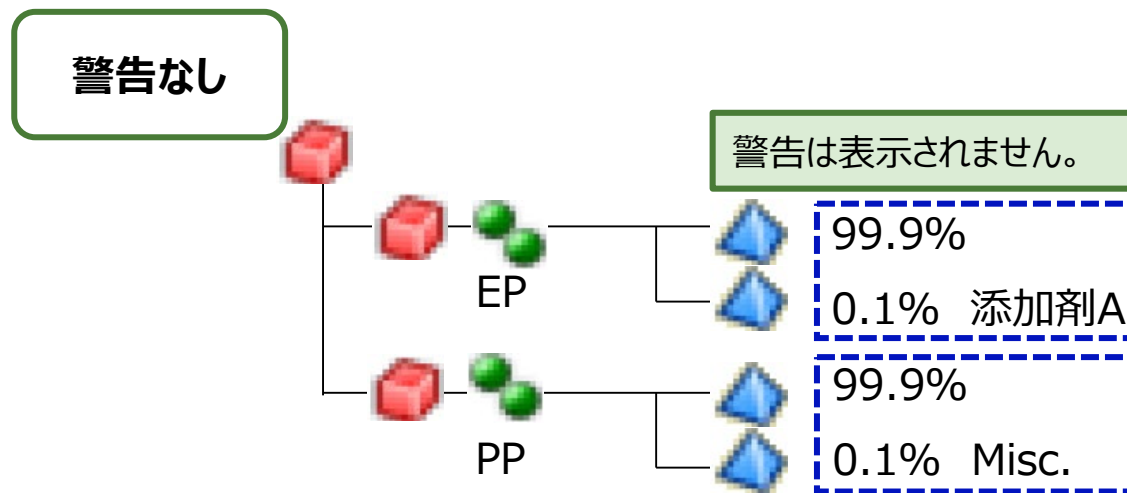
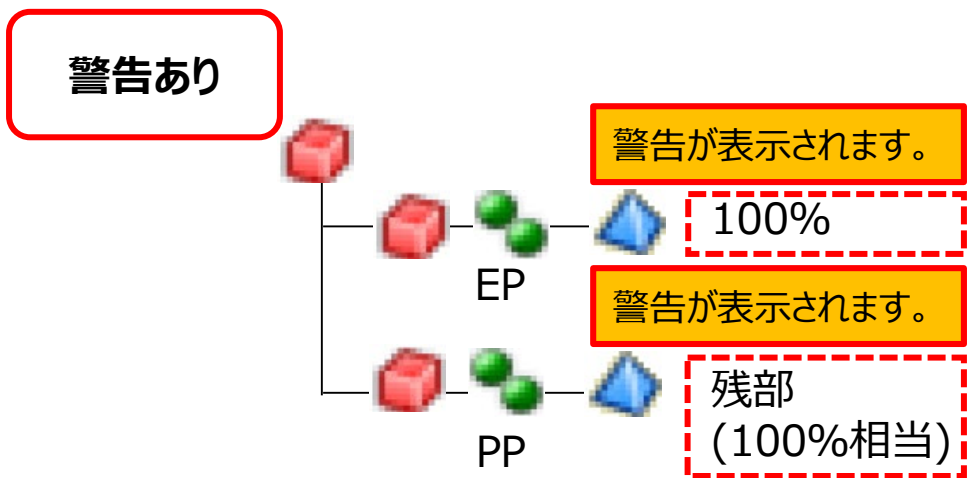
$M \leq 3$   
 $M \leq 5$   
 $M \leq 10$

**【ご注意】この警告がない状態で報告してください！**

## ④樹脂・ゴム材料の成分が単一の化合物で100%となる場合

**【IMDSのチェック：材料分類が「5.x または 6.x」で、一つだけの化学物質が100%で構成されている材料データシートが新たに作成された場合】** (IMDSユーザーマニュアル 3.3.17 エラーチェック)参照

- ・材料分類「5.x または 6.x」の材料について、1物質の含有率が100%の場合、警告が表示されます。  
(樹脂・ゴム類の添加物記載モレを防ぐため、その他添加物を確認し、データに含めてください。)



**【ご注意】この警告がない状態で報告してください！**

### ⑤クロメート、不動態中の水

**【IMDSのチェック：材料に液体や気体の化学物質が1%より多く含まれていて、なおかつ材料分類が「9.x」でない場合、または、特定の化学物質が1%より多く含まれている場合】** (IMDSユーザーマニュアル 3.3.17 エラーチェック)参照

・クロメート中に水を含んだ状態が正しければ、警告が表示されても、そのまま報告してください。

基本的には、水があることで拒否はしません。

#### 【ご参考】

・IMDSコミッティー材料の中には、クロメート(黒)が水を含んだデータで登録されています。

【IMDS公開材料 IMDS ID (材料) : 73281512 / 4】

データシート/モジュール検索 構成情報 サプライヤー情報 送信先情報 分析 入力依頼

フィルター GADSL 規制情報の表示

▼ Chromate film black

- 残部 10.5% Chromium(III)oxide
- 4.5 - 6.5% Chromium(III)-hydroxide
- 9.0 - 11.0% Water**
- 50.0 - 56.0% Dichromium tris(hydrogen phosphate)
- 18.0 - 22.0% Zinc-hydroxide
- 0.0 - 2.0% Misc., not to declare

詳細

▼ 共通情報

タイプ 材料 (公開データシート)

ID/バージョン 73281512 / 4

ノードID 1119451185

ノード数 7

**サプライヤー IMDS-Committee / ILI Metals**

名称 Chromate film black







Japan Display Inc.

## 6 物質調査データの作成上のポイント

- 6-1 GADSL収載物質は、必ず報告する
- 6-2 最終製品に含まれる状態で報告する
- 6-3 最新の設計変更、材料変更と一致させる
- 6-4 物質調査データは、サプライチェーンを通じて伝達する
- 6-5 材料は均質材料毎に報告する
- 6-6 材質表示の表示有無を報告する
- 6-7 部品質量を正しく報告する
- 6-8 ガラス成分の入力方法
- 6-9 材料データの名称欄には、材料名称を入力する
- 6-10 納入単位とJDI使用単位の異なる部材は、材料または  
セミコンポーネントで申告する

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-1 GADSL収載物質は、必ず報告する

GADSL収載物質を閾値超含有する場合は、記入必須。高機密物質と機密物質は、最大10%まで。  
 (IMDSLレコメンデーション 001 規則3.2.1.D、規則4.5.2.C、規則4.5.3)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

##### ①データ作成時(新規作成、更新)

###### (1)GADSL収載物質

- ・規定の閾値を超えて含有している場合は、必ず弊社に報告してください。
- ・ワイルドカード(高機密物質 Misc., not to declareなど)を使用して非開示にすることはできません。

###### (2)ワイルドカード(非開示)

- ・ワイルドカードを使用する場合は、「IMDSLレコメンデーション 001 規則4.5.3」を順守してください。
- ※IMDSでは、高機密物質と機密物質(Confidential Substance)を合わせて10%を超えないようにご注意ください。

##### ②データ更新が必要な場合(GADSLの改正時)

- ・ワイルドカードを使用して報告した物質が、GADSLに収載された場合は、速やかに弊社に報告してください。

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 【最新GADSLの確認方法】

以下のリンク先より確認してください。

<http://www.gadsl.org/>

「Contact Information」、「**Reference List**」、「GADSL Guidance Document」のファイルをダウンロードできます。

The image shows two screenshots of the GADSL website. The left screenshot shows the registration form, and the right screenshot shows the download options. Red and blue callouts provide instructions on how to use the site.

**右記のRegistration formに入力すると、下のDownloadボタンがアクティブになります。**

**Downloadボタン**

**Reference List**

**各ファイルのアイコンにカーソルを合わせてクリックすると、ダウンロードできます。**

**・Contact Information  
・Reference List  
・GADSL Guidance Document  
のファイルをダウンロードできます。**

次ページに続く

## 6 物質調査データの作成上のポイント

ダウンロードした「Reference List」のExcelファイルを開き、以下のとおり、GADSL分類を確認してください。

**①『Reference List』シートをクリックします。**

**②『2』をクリックします。**

**③Reference Listが表示されます。**

**④GADSL分類を確認してください。**

Important Notice, please read  
The GADSL document and the reference list use two main classifications to identify regulatory status, declarable (D) and prohibited (P).

There has been some confusion in the user community over the use of the following classification codes:  
When a substance is classified D three reason codes are possible:  
D/LR: reporting is required by a regulation;  
D/FA: it is being assessed by a regulatory agency for possible but not necessary regulation;  
D/FI: information is being collected for a non-regulatory purpose.

In the later two cases the substance may be removed from the list after the assessment has been completed as is the case with several substances that were evaluated under the Carcinogen Assessment Program. It was determined that no action or restriction on use was necessary to protect human health or the environment.

click on the "2" button at the top of the left margin to display the list, thank you.

CAS RN	Classification	Reason Code	Source (Legal requirements, regulations)	Effective date (Legal requirements, regulations) Date	Action required	Generic examples	Reporting threshold (0.1% unless otherwise stated)
9-16-3	D	LR	Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH)			From polymer components	
4 4	D	FI	Reg. (EC) No 1272/2008 (CLP)			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
5 5	D	LR	Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH)			Acrylamide (residual monomer)	
6 6	D	FI	Reg. (EC) No 1272/2008 (CLP)			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
7 7	D/P	LR	Toxic to Reproduction 1B (CLP), (EU) 2017/1510 REACH Annex XVII, Entries 30			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
8 8	D	FI	Included in list of substances under assessment in phase 3 of Canadian Chemical Management Plan (CCMP) (2016-2020)			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
9 9	D	FI	Legally regulated according to German TRGS 615. Limit for all secondary Amines in volatile corrosion inhibitors, which can form carcinogenic Nitrosamines. Volatile corrosion inhibitors include papers, plastic films and oils.			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
10 10	P	LR	Reg. (EC) No 552/2009			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
11 11	D	FI	The use of ammonium nitrate in automotive airbags has been the reason for several recalls in the US (NHTSA Consumer Order and other markets).			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
12 12	D	FA	Dir. 2007/23/EC, California Assembly Bill No. 826 - Perchlorate Contamination Prevention Act, implemented July 1, 2009			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
13 13	D	FI	Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH)			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
14 14	D	FI	Reg. (EC) No 1272/2008			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
15 15	D	FI	Reg. (EC) No 1272/2008			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
16 16	D/P	FLR	Reg. (EC) No 1272/2008			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
17 17	D/P	FA/LR	Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH)			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
18 18	P	LR	Definition of asbestos fiber for counting purpose by OSHA in 1982: Particle with a length >= 5 um, a diameter of <= 3um and aspect ratio (length / width) >= 3:1			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
19 19	D/P	FLR	Potential to form Asbestos fibers (see entry Asbestos) Reg. (EC) No 552/2009, Reg. (EC) No 1907/2006 (REACH), TRGS 614			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	
20 20	D/P	LR	A list of affected azo dyes has been prepared by an industrial association (TEGEVA), see List A in http://www.tegewa.de/uploads/media/2001_Azofarbstoffe_nennenswerte_TRGS_614.pdf			Di-cyclohexyl adipate, used in automobile parts	

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-2 最終製品に含まれる状態で報告する

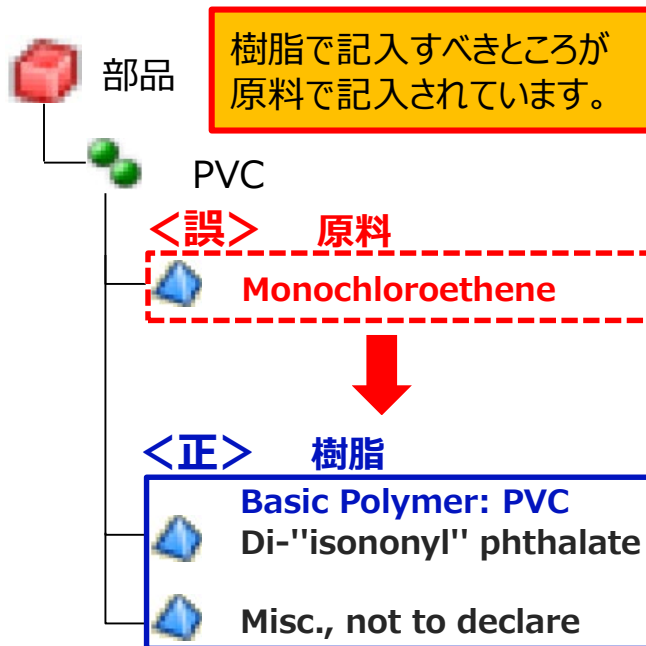
最終的に製品に含有する物質を記入する。

(IMDSLレコメンデーション 001 規則4.4.1.B、規則4.4.1.C)参照

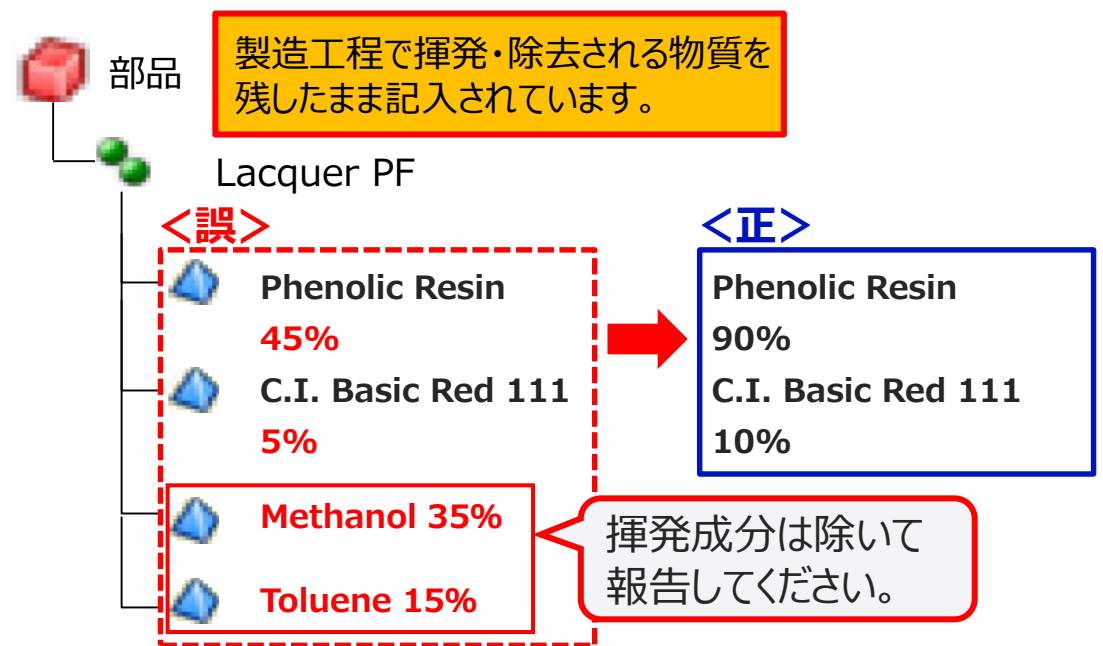
#### 【特に注意していただきたいポイント】

- ①樹脂の場合、樹脂製造時の原料ではなく、弊社へ納入時の状態(成分)で報告してください。
- ②塗料や接着剤の場合、製造工程で揮発・除去される物質(プロセスケミカル)を除いて、硬化後の状態で報告してください。
- ③偏光板・テープ類などの保護フィルム／マーキング用インク／セパレータは除いた状態で報告してください。

#### 事例1



#### 事例2



## 6 物質調査データの作成上のポイント

### ご参考：樹脂用の選択肢(疑似物質)

- ・樹脂は原料で報告せず、最終製品の状態で報告してください。
- ・樹脂については、以下の選択肢(疑似物質)が用意されていますので、材料メーカーへの確認などにご活用ください。
- ・下記リストは樹脂用化合物の一例です。その他にもJISで定義されていない樹脂・ポリマーアロイ(複数樹脂混合の樹脂)など、多数の選択肢が登録されていますので、ご活用ください。

材料名称(日本語)	材料記号 (JISK6899-1)	IMDSでの選択肢 (化合物名称)	材料名称(日本語)	材料記号 (JISK6899-1)	IMDSでの選択肢 (化合物名称)
アクリロニトリル-ブタジエン-アクリル酸エステルプラスチック	ABAK	Basic Polymer: ABAK	メタクリル酸メチル-ブタジエン-スチレンプラスチック	MBS	Basic Polymer: MBS
アクリロニトリル-ブタジエン-スチレンプラスチック	ABS	Basic polymer: ABS	メチルセルロース	MC	Basic Polymer: MC
アクリロニトリル-塩素化ポリエチレン-スチレン	ACS	Basic Polymer: ACS	メラミン-ホルムアルデヒド樹脂	MF	Basic Polymer: MF
アクリロニトリル- (エチレン-プロピレン-ジエン)-スチレンプラスチック	AEPDS	Basic Polymer: AEPDS	メラミン-フェノール樹脂	MP	Basic Polymer: MP
アクリロニトリル-メタクリル酸メチルプラスチック	AMMA	Basic Polymer: AMMA	α-メチルスチレン-アクリロニトリルプラスチック	MSAN	Basic Polymer: MSAN
アクリロニトリル-スチレン-アクリル酸エステルプラスチック	ASA	Basic Polymer: ASA	ポリアミド	PA	Basic Polymer: PA
酢酸セルロース	CA	Basic Polymer: CA	ポリアクリルエーテルケトン	PAEK	Basic Polymer: PAEK
酢酸酪酸セルロース	CAB	Basic Polymer: CAB	ポリアミドイミド	PAI	Basic Polymer: PAI
酢酸プロピオン酸セルロース	CAP	Basic polymer: CAP	ポリアクリル酸エステル	PAK	Basic Polymer: PAK
セルロースホルムアルデヒド	CEF	Basic Polymer: CEF	ポリアクリロニトリル	PAN	Basic Polymer: PAN
クレゾールホルムアルデヒド樹脂	CF	Basic Polymer: CF	ポリアレート	PAR	Basic Polymer: PAR
カルボキシメチルセルロース	CMC	Basic Polymer: CMC	ポリアリアルアミド	PARA	Basic Polymer: PARA
硝酸セルロース	CN	Basic Polymer: CN	ポリブテン	PB	Basic Polymer: PB
シクロオレフィンコポリマー	COC	Basic polymer: COC	ポリアクリル酸ブチル	PBAK	Basic Polymer: PBAK
プロピオン酸セルロース	CP	Basic polymer: CP	1, 2-ポリブタジエン	PBD	Basic Polymer: PBD
三酢酸セルロース	CTA	Basic Polymer: CTA	ポリブチレンテレフタレート	PBT	Basic Polymer: PBT
エチレン-アクリル酸プラスチック	EAA	Basic Polymer: EAA	ポリカーボネート	PC	Basic Polymer: PC
エチレン-アクリル酸ブチルプラスチック	EBAK	Basic Polymer : EBAK	ポリシクロヘキシレンジメチレン=テレフタレート	PCT	Basic Polymer: PCT
エチルセルロース	EC	Basic Polymer: EC	ポリクロロトリフルオロエチレン	PCTFE	Basic Polymer: PCTFE
エチレン-アクリル酸エチルプラスチック	EEAK	Basic Polymer: EEAK	ポリジアルフタレート	PDAP	Basic Polymer: PDAP
エチレン-メタクリル酸プラスチック	EMA	Basic Polymer: EMA	ポリジシクロペンタジエン	PDCPD	Basic Duomer: PDCPD
エポキシド, エポキシ樹脂又はエポキシプラスチック	EP	Basic Polymer: EP	ポリエチレン	PE	Basic Polymer: PE
エチレン-プロピレンプラスチック	E/P	Basic Polymer: E/P	ポリエチレン, 塩素化	PE-C	Basic polymer: PE-C
エチレン-テトラフルオロエチレンプラスチック	ETFE	Basic Polymer: ETFE	ポリエチレン, 高密度	PE-HD	Basic Polymer: PE-HD

次ページに続く

# 6 物質調査データの作成上のポイント

前ページの続き

材料名称(日本語)	材料記号 (JISK6899-1)	IMDSでの選択肢 (化合物名称)
エチレン-酢酸ビニルプラスチック	EVAC	Basic Polymer: EVAC
エチレン-ビニルアルコールプラスチック	EVOH	Basic Polymer: EVOH
ペルフルオロ (エチレン-プロピレン)プラスチック	FEP	Basic Polymer: FEP
フロン-ホルムアルデヒド樹脂	FF	Basic Polymer: FF
液晶ポリマー	LCP	Basic Polymer: LCP
メタクリル酸メチル-アクリロニトリル-ブタジエン-スチレンプラスチック	MABS	Basic Polymer: MMABS
ポリエーテルエステル	PEEST	Basic Polymer: PEEST
ポリエーテルイミド	PEI	Basic Polymer: PEI
ポリエーテルケトン	PEK	Basic Polymer: PEK
ポリエチレンナフタレート	PEN	Basic polymer: PEN
ポリエチレンオキシド	PEOX	Basic Polymer: PEOX
ポリエステルウレタン	PESTUR	Basic Polymer: PESTUR
ポリエーテルスルホン	PESU	Basic Polymer: PES
ポリエチレンテレフタレート	PET	Basic Polymer: PET
ポリエーテルウレタン	PEUR	Basic Polymer: PEUR
フェノール-ホルムアルデヒド樹脂	PF	Phenol-formaldehyde Resin
ペルフルオロアルコキシアルカン樹脂	PFA	Basic Polymer: PFA
ポリイミド	PI	Polyimide
ポリイソブチレン	PIB	Basic Polymer: PIB
ポリイソシアヌレート	PIR	Basic Polymer: PIR
ポリケトン	PK	Basic Polymer: PK
ポリメタクリルイミド	PMI	Basic Polymer: PMI
ポリメタクリル酸メチル	PMMA	Basic Polymer: PMMA
ポリ (N-メチルメタクリルイミド)	PMMI	Basic Polymer: PMMI
ポリ (4-メチルペンタ-1-エン)	PMP	Basic Polymer: PMP
ポリ (α-メチルスチレン)	PMS	Basic Polymer: PMS
ポリオキシメチレン, ポリアセタール, ポリホルムアルデヒド	POM	Basic Polymer: POM
ポリプロピレン	PP	Basic Polymer: PP
ポリプロピレン, 発泡性	PP-E	Basic Polymer: PP-E
ポリフェニレンエーテル	PPE	Basic Polymer: PPE
ポリプロピレンオキシド	PPOX	Basic Polymer: PPOX
ポリフェニレンスルフィド	PPS	Basic Polymer: PPS
ポリフェニレンスルホン	PPSU	Basic Polymer: PPSU
ポリスチレン	PS	Basic Polymer: PS
ポリスチレン, 発泡性	PS-E	Basic Polymer: PS-E
ポリスチレン, 耐衝撃性	PS-HI	PS-HI (HIPS)

材料名称(日本語)	材料記号 (JISK6899-1)	IMDSでの選択肢 (化合物名称)
ポリエチレン, 低密度	PE-LD	Basic polymer: PE- LD
ポリエチレン, 線状低密度	PE-LLD	Basic polymer: PE-LLD
ポリエチレン, 中密度	PE-MD	Basic polymer: PE-MD
ポリエチレン, 超高分子量	PE-UHMW	Basic polymer: PE-UHMW
ポリエステルカーボネート	PEC	Basic Polymer: PEC
ポリエーテルエーテルケトン	PEEK	Basic Polymer: PEEK
ポリスルホン	PSU	Basic Polymer: PSU
ポリテトラフルオロエチレン	PTFE	Basic polymer: PTFE
ポリトリメチレンテレフタレート	PTT	Basic Polymer: PTT
ポリウレタン	PUR	Basic Polymer: PUR
ポリ酢酸ビニル	PVAC	Basic Polymer: PVAC
ポリビニルアルコール	PVAL	basic Polymer: PVAL
ポリビニルブチラル	PVB	Basic Polymer: PVB
ポリ塩化ビニル	PVC	Basic Polymer: PVC
ポリ塩化ビニル, 塩素化	PVC-C	Basic Polymer: PVC-C
ポリ塩化ビニリデン	PVDC	Basic Polymer: PVDC
ポリフルオロビニリデン	PVDF	Basic Polymer: PVDF
ポリフルオロビニル	PVF	Basic Polymer: PVF
ポリビニルホルマール	PVFM	Basic Polymer: PVFM
ポリ-N-ビニルカルバゾール	PVK	Basic Polymer: PVK
ポリ-N-ビニルピロリドン	PVP	Basic Polymer: PVP
スチレン-アクリロニトリルプラスチック	SAN	Basic Polymer: SAN
スチレン-ブタジエンプラスチック	SB	Styrene-butadiene rubber
シリコーンプラスチック	SI	Silicone resin
スチレン-無水マレイン酸プラスチック	SMAH	Basic Polymer: SMAH
スチレン-α-メチルスチレンプラスチック	SMS	Basic Polymer: SMS
ユリア-ホルムアルデヒド樹脂	UF	Basic Polymer: UF
不飽和ポリエステル	UP	Basic Duromer: unsaturated polyester resin
塩化ビニル-エチレンプラスチック	VCE	Basic Polymer: VCE
塩化ビニル-エチレン-アクリル酸メチルプラスチック	VCEMAK	Basic Polymer: VCEMAK
塩化ビニル-エチレン-酢酸ビニルプラスチック	VCEVAC	Basic Polymer: VCEVAC
塩化ビニル-アクリル酸メチルプラスチック	VCMAK	Basic Polymer: VCMAK
塩化ビニル-メタクリル酸メチルプラスチック	VCMMMA	Basic Polymer: VCMMMA
塩化ビニル-アクリル酸オクチルプラスチック	VCOAK	Basic Polymer: VCOAK
塩化ビニル-酢酸ビニルプラスチック	VCVAC	Basic Polymer: VCVAC
塩化ビニル-塩化ビニリデンプラスチック	VCVDC	Basic Polymer: VCVDC

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### ご参考：エポキシ樹脂の入力方法

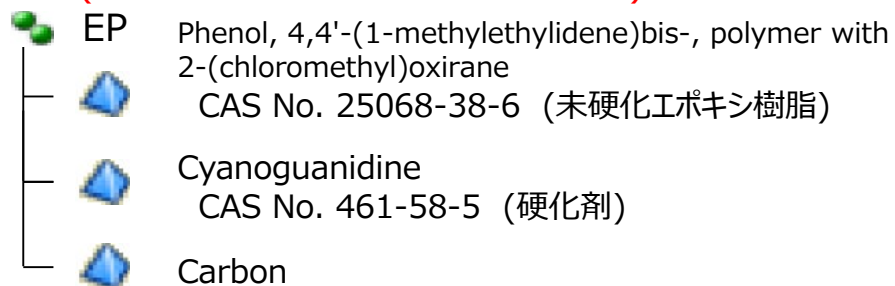
- 【ルール】**
- ・接着剤やシール剤に用いられる樹脂は、硬化した状態での記載が必要。
  - ・硬化した状態で申告すべき化学物質が含まれている場合、その物質の申告(報告)が必要。 (IMDSLレコメンデーション 001a)参照
- 【推奨】**
- ・硬化後のエポキシ樹脂は、申告すべき化学物質を除き、Basic Duromer: Epoxy resin(CAS No.なし)などの擬似物質を用いることを推奨します。 (IMDSLレコメンデーション 012)参照

### 【入力上のポイント】

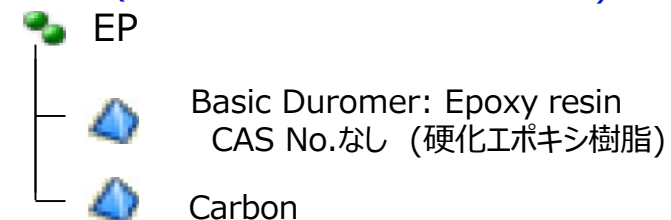
- ・未硬化樹脂と硬化剤の両方が入力されている場合、両者をまとめて擬似物質で入力\*します。
  - ・硬化剤が共存していない場合は、未硬化樹脂を擬似物質で入力\*します。
- \*仕入先様から入手したデータに硬化したエポキシ樹脂も入力されていた場合、未硬化樹脂や硬化剤は未反応物である可能性があります。必ず、仕入先様に残存有無および含有率を確認してください。未反応物が残存する場合、修正は不要です。
- ・未硬化樹脂が臭素化物である場合、擬似物質としてBasic Duromer: Brominated epoxy resinを選択します。
- (次ページ参照。最適な擬似物質を選択してください。)

### 事例

#### <誤> (未硬化状態の物質が報告されている)



#### <正> (完全に硬化した場合の正しい例)





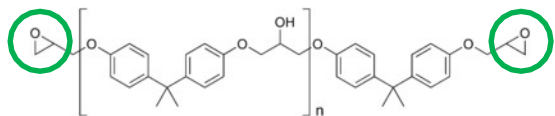
## 6 物質調査データの作成上のポイント

下図は、エポキシ樹脂の硬化前後の対応を示しています。未硬化エポキシ樹脂にも単体で硬化するものもありますが、下記のとおりエポキシ基(○部)が1分子に2個のみ付いているものは、単体では幾何学的に網目状構造が形成できないため、硬化\*しません。

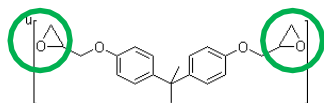
\*このような未硬化樹脂単体でも分子量が大きくなると固体になりますが、これは熱可塑性(直鎖状集合体)であり、硬化(網目状構造体化)はしません。

### <未硬化樹脂>

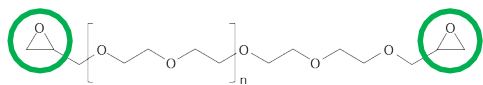
CAS No. 25068-38-6



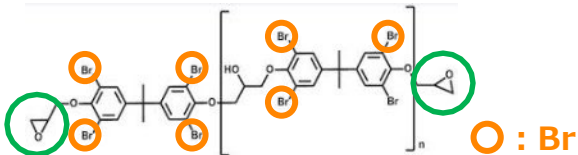
CAS No. 25085-99-8



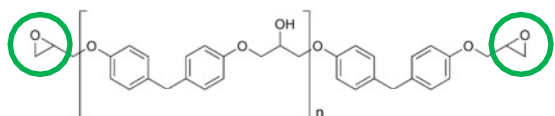
CAS No. 25928-94-3



CAS No. 40039-93-8



CAS No. 58421-55-9



### <硬化樹脂>

CAS No. なし  
Basic duomer: Epoxy resin

CAS No. なし  
Basic duomer: Epoxy resin

CAS No. なし  
Basic duomer: Epoxy resin

CAS No. なし  
Basic duomer: **Brominated** epoxy resin

CAS No. なし  
Basic duomer: Epoxy resin

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 【エポキシ樹脂およびウレタン樹脂の反応中間体について】

下記A表およびB表は、それぞれエポキシ樹脂、ウレタン樹脂の反応中間体(高分子化合物)の一例です。これらの物質については、最終製品の状態をご確認のうえ、疑似物質を使用するなどして報告してください。

#### <A表> エポキシ樹脂の反応中間体

CAS No.	Chemical Name
25068-38-6	Phenol, 4,4'-(1-methylethylidene)bis-, polymer with 2-(chloromethyl)oxirane
58421-55-9	Phenol, methylenebis-, polymer with (chloromethyl)oxirane (9CI)
25928-94-3	Diethylene-glycol,-polymer-with-1-chloro-2,3-epoxypropane
40039-93-8	Phenol, 4,4'-(1-methylethylidene)bis(2,6-dibromo-, polymer with (chl...
25085-99-8	Oxirane, 2,2'-((1-methylethylidene)bis(4,1-phenyleneoxymethylene))bi...
25036-25-3	Phenol, 4,4'-(1-methylethylidene)bis-, polymer with 2,2'-((1-methylethylidene)bis(4,1-phenyleneoxymethylene))bis(oxirane)
29690-82-2	Formaldehyde, polymer with (chloromethyl)oxirane and 2-methylphenol
28064-14-4	Phenol, polymer with formaldehyde, glycidyl ether

#### <B表> ウレタン樹脂の反応中間体

CAS No.	Chemical Name
9009-54-5	Polyurethane
9016-87-9	Diphenylmethanediisocyanate, isomeres and homologues
68400-67-9	1,3-Butanediol, polymer with alpha-butyl-omega-hydroxypoly (oxy(methyl-1,2-ethanediyl)) and 1,3-diisocyanatomethylbenzene
101325-00-2	Carbonic acid, dimethyl ester, polymer with 1,6-hexanediol
282534-15-0	Dimethyl carbonate polymer with 1,6-hexanediol and 2-oxepanone
171926-76-4	Polycarbonatediol (PCD)
216691-97-3	Carbonic acid, dimethyl ester, polymer with 1,4-cyclohexanedimethanol and 1,6-hexanediol
103837-45-2	1,2-Propanediol, polymer with 1,1'-methylenebis[isocyanatobenzene], methyloxirane and oxirane
113066-13-0	Urethane acrylate prepolymer
9057-91-4	Poly(oxy(methyl-1,2-ethanediyl)), alpha-hydro-omega-hydroxy-, polymer with 1,3-diisocyanatomethylbenzene
68083-75-0	1,2-Propanediol, polymer with 1,1'-methylenebis(4-isocyanatobenzene), 2-methyloxirane and oxirane
68092-58-0	Propanol, ((1-methyl-1,2-ethanediyl)bis(oxy))bis-, polymer with 1,1'...

これらのCAS No.は、反応後の樹脂には残りません。反応後の樹脂の適切な物質を選択してください。例えば、「CAS No.無し Epoxy resin」、「CAS No.無し Polyurethane resin あるいは PUR」を選択するなど。

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-3 最新の設計変更、材料変更と一致させる

新しい材料を追加したり、報告済みの材料を部品から除外したりする際は、対応するデータシートを改訂して再送信すること。

(IMDSLレコメンデーション 001 規則3.2.1.B)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

- ・設計変更、材料の変更・追加などにより、物質調査データに変更がある場合、再提出が必要です。

変更の例：コーティング層 1層 ⇒ コーティング層 2層に変更

変更の例：鉛含有品 ⇒ 鉛フリー品へ切替

### 6-4 物質調査データは、サプライチェーンを通じて伝達する

材料データは、サプライチェーン(Tiern ⇒ Tier n -1 ⇒・・・自動車メーカー)に沿って伝達されること。材料データは、材料を製造している企業のみが作成すること。

(IMDSLレコメンデーション 001 規則3.1.A、規則4.4.1.E)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

- ・材料メーカー様が、材料の成分情報を入力してください。
- ・部品メーカー様は、材料メーカー様より入手した材料データを使用し、部品データを作成してください。

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-5 材料は均質材料毎に報告する

均質材料毎に分けて記入する。

(IMDSレコメンデーション 001 規則4.4.1.D、001a 1.1 IMDSにおける材料分類の選択)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

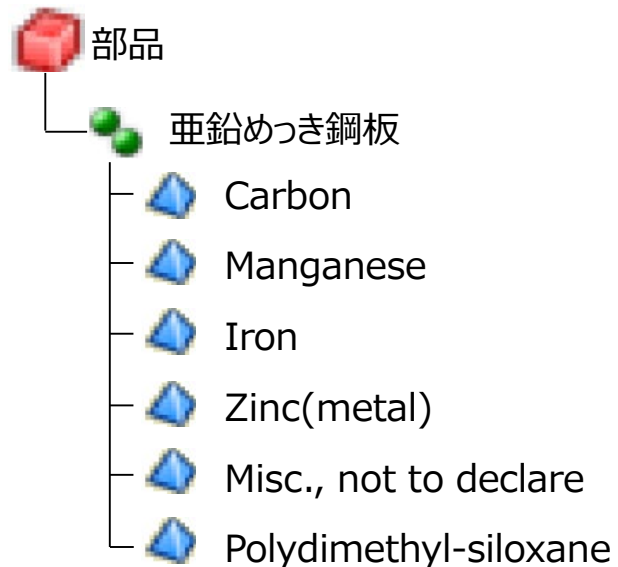
・「均質」とは、機械的に複数の材料に分離できない均質な材料の組成であることを意味します。

材料が均質材料として表記されているか、確認してください。

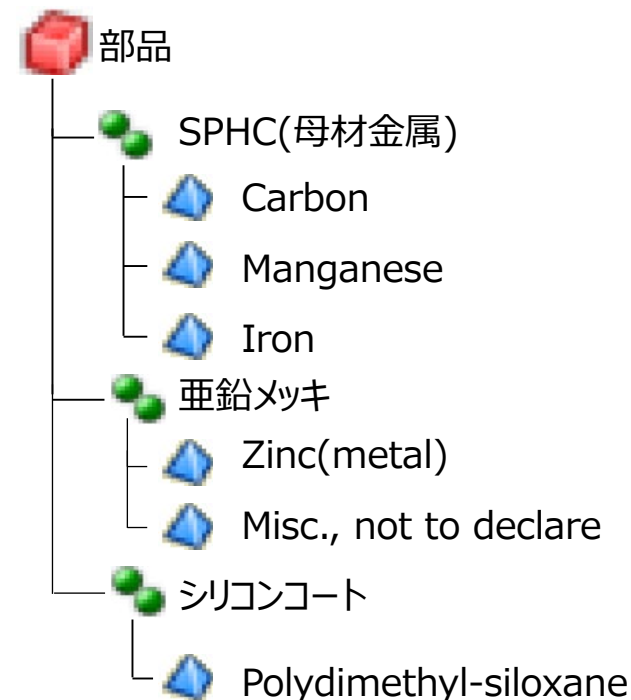
#### 事例



<誤>



<正>



## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-6 材質表示の表示有無を報告する

以下の条件に該当する場合、材質表示の回答が必要。

基準値：「材料分類5.1.x または 5.4.x」かつ「100g超」、「材料分類5.2 または 5.3」かつ「200g超」

(IMDSユーザーマニュアル 3.3.11 樹脂・ゴム製部品への材質表示)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

- ・「N(いいえ)」は、材質表示が必要にもかかわらず表示されていないことを意味し、通常では想定されませんので、「N(いいえ)」の回答はしないでください。  
※質量が基準値以下で材質表示がされていない場合、「N/A(該当しない)」で回答してください。
- ・ASSY購入品における構成部品も、材料分類、質量の条件に合致すれば、材質表示の回答が必要です。

### 6-7 部品質量を正しく報告する

正確な質量(部品質量)を指定する必要がある。

(IMDSレコメンデーション 001 規則4.2.2.A)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

- ・図面上の質量の確認・質量の実測などを参考にして、正確な質量を報告してください。

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-8 ガラス成分の入力方法

- 【推奨】
- ・新規作成のガラス、ケイ酸塩セラミックおよびエナメルデータシートは、単一の(擬似)化学物質を含む単純な材料としての記述が必要です。変更できないデータの場合、その既存データシートはそのまま使用できます。
  - ・申告すべき化学物質が含まれている場合、「IMDSレコメンデーション 001」の一般的なルールに従って、追加で指定する必要があります。

(IMDSレコメンデーション 001a 2.6 ガラス、ケイ酸塩セラミックおよびエナメルデータシートの作成)参照

#### 【入力上のポイント】

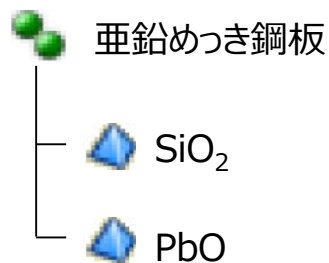
- ・新しくデータを作成する場合、UVCB\*のみを使用してください。

\*UVCB：組成が不明または不定の物質、複雑な反応生成物または生物材料

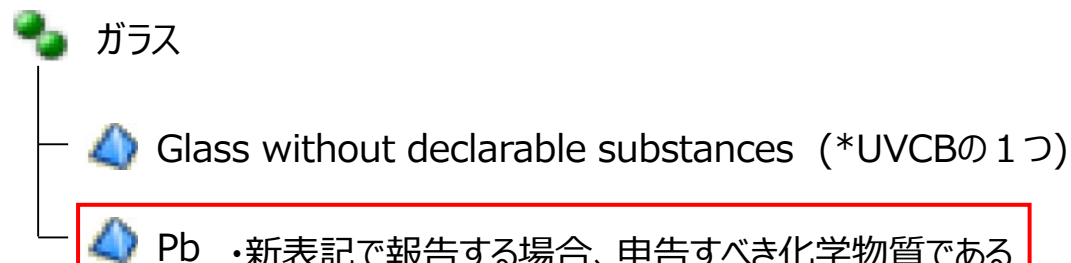
(Substances of Unknown or Variable composition, Complex reaction products or Biological materials)

#### 事例

<誤>



<正>



- ・新表記で報告する場合、申告すべき化学物質であるPbのみを分けて記載してください。
- ・原料である「PbO」は、入力しないでください。

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-9 材料データの名称欄には、材料名称を入力する

・材料データシートの名称フィールドには、材料名称を入力する。

(IMDSLレコメンデーション 001 規則4.4.2 材料データシートに記載される情報)参照

・商品名を材料名称として使用しないこと。

(IMDSLレコメンデーション 001 規則4.4.2.B)参照

#### 【特に注意していただきたいポイント】

・公的材料規格(JIS、ISOなど)で規定された名称がある場合は、必ず公的材料名称を入力してください。

上記が使用できない場合は、以下のとおり入力してください。

①材料種別が特定可能で具体的な名称

(例 : Carbon steel、Stainless steelなど)

②JAPIAシートに登録された材料記号や材料コード

(例 : FE、AL、SINTERFE、ABS、PCなど)













The screenshot shows a software interface for material data entry. The left pane displays a tree view for 'SUS304' with sub-items for various elements and their percentages: Iron (70.0 - 80.0%), Silicon (0.4 - 0.5%), Carbon (0.0 - 0.1%), Manganese (1.0 - 2.0%), Phosphorus (0.0 - 0.1%), Sulphur (0.0 - 0.1%), Nickel (8.0 - 9.0%), and Chromium (18.0 - 19.0%). The right pane shows '詳細' (Details) for '共通情報' (Common Information), including fields like 'タイプ' (Type), 'ID/バージョン' (ID/Version), 'ノードID' (Node ID), 'ノード数' (Node Count), 'サプライヤー' (Supplier), '名称' (Name), '商品名' (Product Name), and '社内材料コード' (Internal Material Code). The '名称' field is highlighted with a red box and contains the text 'SUS304'. A red callout bubble points to this field with the text '材料名称を入力してください。例：SUS304'.

次ページに続く

## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-9 材料データの名称欄には、材料名称を入力する

材料名称が以下のように入力されている場合、不備となりますので、正しい材料名称を入力してください。(弊社顧客より、拒否される場合があります。)

不備となるケース	主な事例	入力不備例(赤線部分)
材料名称以外の名称が入力されている。	構成部品名称が入力されている。	  <u>FINISHING</u>
		  <u>CENTER TAPE</u>
材料名称は入力されているが、それ以外の名称も入力されている。	商品名が入力されている。	  <u>XYZ-001</u>
	構成部品名称が入力されている。	  <u>SHEET PC</u>
		  <u>EP RIGHT SIDE</u>
	商品名が入力されている。	  <u>INK ABC-002</u>

次ページに続く

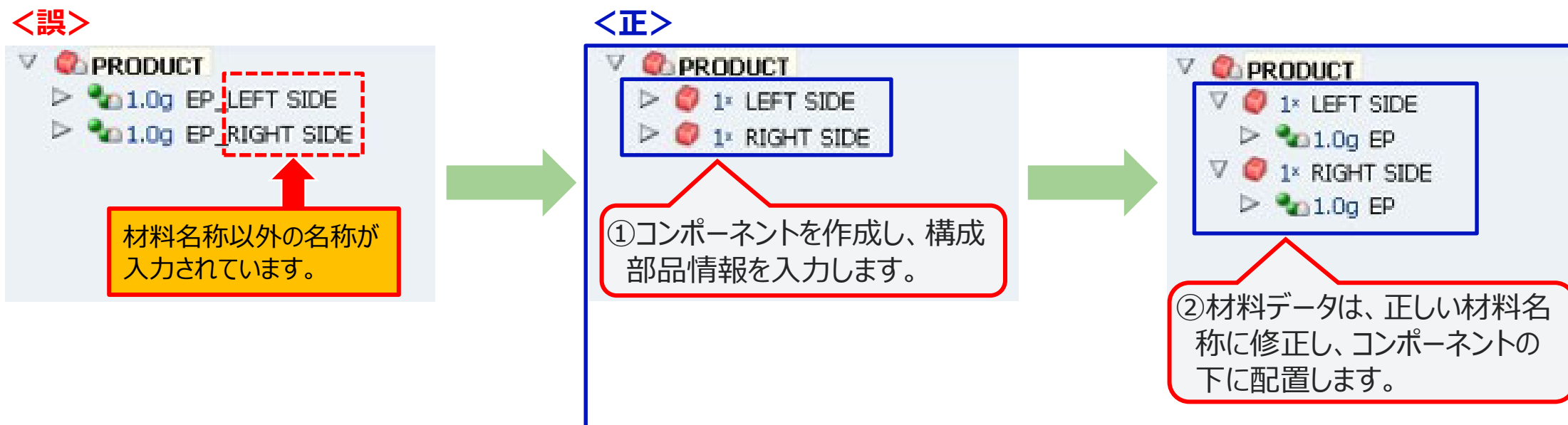


## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-9 材料データの名称欄には、材料名称を入力する

材料の使用箇所(構成部品情報)などを表記する場合の対応方法は、以下のとおりです。コンポーネント内の同一材料を区別したい場合も、この方法で対応できます。

#### 対応方法



## 6 物質調査データの作成上のポイント

### 6-10 納入単位とJDI使用単位の異なる部材は、材料またはセミコンポーネントで報告する




カラーフィルターのように大板状態で納入し、弊社で個片化するような部材は、材料またはセミコンポーネントとして、単位面積／体積／長さあたりの成分で報告する。

(IMDSユーザーマニュアル 3.3.1 データシートタイプ)参照

### 3.3 材料とコンポーネントのデータシート

#### 3.3.1 データシートタイプ

以下の表に、コンポーネント、セミコンポーネント、材料の特徴をまとめています:

データシートタイプ	説明	参照先の親ノード	参照できる子ノード	質量
 材料	均質な構造を表している。 - 仮にスライスして断面を見たとしても、層や成分の違いを確認することができない(ただし電子部品は除く)	他の材料、セミコンポーネント、コンポーネント	他の材料、化学物質	単体ではまだ質量は決まっていない
 セミコンポーネント	材料と類似しているが、アセンブリまたは最終製品になる前に加工を必要とするものを表している。例えば、鉄板や被覆線など。長さ、体積、面積単位で使用される。	他のセミコンポーネント、コンポーネント	他のセミコンポーネント、材料	単体ではまだ質量は決まっていない
 コンポーネント	アセンブリまたは質量が決まった部品を表し、数量で数えられるもの。例えばボルトやエンジン部、シートなど。コンポーネントのデータシートは質量が決まっておいて、構成上減らされることはない。	他のコンポーネント	他のコンポーネント、セミコンポーネント、材料	質量が決まっている

(IMDSユーザーマニュアル 3.3.1 データシートタイプ)引用



Japan Display Inc.

## 7 お問い合わせ先

**IMDSの操作方法/登録/入力方法/データ作成方法/教育/マニュアル/ルール/設定方法などに関するご質問につきましては、下記の連絡先へお問い合わせください。**

**【IMDSサービスセンター】**

・日本

E-mail : [jpimds-helpdesk@dxc.com](mailto:jpimds-helpdesk@dxc.com)

TEL : 03-4530-9270

・日本以外

以下のリンク先を参照してください。

<https://public.mdssystem.com/ja/web/imds-public-pages/imds-service-centers>

**JDI固有の要求事項につきましては、下記の連絡先へお問い合わせください。**

株式会社ジャパンディスプレイ 製品環境部門 グリーン調達ヘルプデスク

E-mail : [green.proc.zz@j-display.com](mailto:green.proc.zz@j-display.com)

版	更新日	主な改訂内容
1.00	2023/02/09	新規作成
1.01	2023/09/13	「4-8 リサイクル情報」画像変更、「6-2 最終製品に含まれる状態で報告する」追記、「6-10 納入単位とJDI使用単位の異なる部材は、材料またはセミコンポーネントで申告する」新規作成



# **PersonalTech For A Better World**